

厚生労働科学研究費補助金

がん対策推進総合研究事業

「次期がん対策推進基本計画に向けて小児がん拠点
病院および連携病院の小児がん医療・支援の質を評
価する新たな指標開発のための研究」

令和2年度～令和4年度 総合研究報告書

研究代表者 松本 公一

令和5年3月

目次

I. 総合研究報告

次期がん対策推進基本計画に向けて小児がん拠点病院および連携病院の小児がん医療・支援の質を評価する新たな指標開発のための研究-----1

松本 公一

II. 研究成果の刊行に関する一覧表-----9

「次期がん対策推進基本計画に向けて小児がん拠点病院および連携病院の小児がん医療・支援の質を評価する新たな指標開発のための研究」

研究代表者：松本 公一 国立成育医療研究センター 小児がんセンター長

研究要旨

この研究の目的は、小児がん拠点病院 Quality Indicator (QI) および小児がん連携病院 QI を設定し、REDCap を用いた WEB データ入力システムにより計測することで、日本における小児がん医療の質を評価し、今回得られる小児がん医療の質に関する情報・課題を、次期小児がん拠点病院の指定要件に反映させることを目指す。新たな小児がん連携病院 QI の作成と、既存測定項目のブラッシュアップと継続的測定を行い、特に連携病院の層別化については十分な検討を行った。

拠点病院に関しては、小児血液・がん専門医数の漸増傾向や HPS/CLS/こども療養支援士の配置など整備の進んだ面が明らかになった。一方、小児がん認定外科医の配置、放射線治療専門医、病理専門医、専門・認定薬剤師の配置、中央病理提出、男性の妊孕性温存の実施など、整備が遅れている部分も明らかになった。連携病院に関しては、小児がん連携病院での医療は比較的小規模で、構造的に十分ではないことが明らかになり、大学病院・総合病院と小児病院では、小児がん医療に関わる人員配置が大きく異なっていた。特に小児病院において緩和医療認定医・専門医・指導医の配置がされていないことが明らかになり、小児病院での緩和医療提供体制整備が急がれた。今回、診療患者数の違いにより、1-A、1-B に層別化することの妥当性を検討したが、類型 1 の中で患者数の少ない施設であっても同等の治療・支援が行われている可能性が示唆された。今後、2023 年度以降の実際の層別化により、実際の集約化・均てん化の進捗状況に注視していきたい。

小児がん連携病院 QI を測定することで、日本の小児がん医療の実態が明らかになった。今後、連携病院のあり方を適正に評価して、小児がん医療の集約化を加速させる必要があると考えられた。それぞれの病院が目的意識を持って PDCA サイクルを回すことを促すことで、小児がん医療全体の底上げに寄与することが期待される。今後は、現状で QI を測定していない類型 2、3 において、今後 QI を測定することで、診療の質を担保する必要があると考えられた。

A. 研究目的

わが国では 2013 年に小児がん拠点病院

(以下拠点病院) が 15 病院指定され、小児がん医療の均てん化と集約化を目指している。2019 年に小児がん連携病院 (以下

連携病院)が全国に140施設あまり誕生したが、地域によって選定要件は異なり、本研究以前には、連携病院における小児がん医療の質を評価することができていなかった。今回の研究では、「小児がん拠点病院等の連携による移行期を含めた小児がん医療提供体制整備に関する研究(29050401)研究代表者:松本公一」(旧松本班)で策定した小児がん拠点病院 Quality

Indicator(QI)を参考に、新たに連携病院QIを策定することで、連携病院間の客観的な比較が可能となり、かつ正確に小児がん診療の実態を反映する指標の開発を目指す。さらにその過程において、連携病院においても診療情報管理士を中心とした測定方法を定着させ、小児がん統計の精度を向上させることも目的とする。

旧松本班において、小児がん拠点病院を対象にして、小児がん拠点病院QIを策定し運用を開始している。現在までに治療関連24指標(構造指標8、過程指標6、結果指標10)、QOL関連13指標(構造指標3、過程指標7、結果指標3)の合計37指標を設定し、経年的に測定することでそれぞれの拠点病院においてPDCAサイクルを回すことに貢献している。しかし、小児がん拠点病院QIをそのまま連携病院QIに当てはめることは、要求される指標基準の高さから、問題が多いと考えられる。

今回の連携病院QI研究により、拠点病院のみならず小児がん連携病院の役割を明確化することができ、地域医療の現状に即した形で、医療面と支援の両面において小児がん医療全体の質の向上に対する進捗管理が可能となる。今回の研究では、小児がん拠点病院および連携病院における診療の質

を向上させ、日本全体の小児がん患者・家族の利益に反映させることを最終的な目的とする。小児がん拠点病院・連携病院が自施設のQIを継続的に測定することを通して、それぞれの病院が目的意識を持って、PDCAサイクルを回すことができれば、小児がん医療全体の底上げに繋がることが期待される。

B. 研究方法

初年度は、連携病院の診療の質を評価する新たな小児がん連携病院QI指標を検討するために、多職種からなる指標検討ワーキンググループを構成し、連携病院の評価に最適なQI指標を策定することを計画した。同時に従来から運用を開始している小児がん拠点病院QI指標の改訂と測定を行い、課題を抽出する。今年度は、新たに策定された連携病院QI指標に関して、各ブロック内の連携病院に所属する診療録管理士による算定ワーキンググループをブロックごとに形成し、適切な算定が行われるようにする。この算定ワーキンググループの構成により、各病院における診療録管理士の役割を明確にすることができると共に、各連携病院間のQI測定のばらつきを少なくすることができ、連携病院の医療の質の評価を適切なものとすることができる。完成した連携病院QIを実際に測定しPDCAサイクルを回し、連携病院における課題を明らかにする計画である。第3年度には、連携病院QIを精度の高いものとし、継続的に測定し、PDCAサイクルをさらに回す。第2年度に明示された課題から、次期がん対策推進基本計画の策定の参考となる課題を抽出し、小児がん拠点病院・連携病院を中心とした

小児がん診療の質に関する施策提言を行うことを目指す。

(倫理面への配慮)

「小児がん診療に適合した医療の質を表す指標 (Quality Indicator:QI) の作成と小児がん拠点病院における適応に関する研究」は、国立成育医療研究センターの倫理審査委員会にて承認を得ている(課題番号 1315, 2016年12月05日承認)。また、「小児がん連携病院を対象とした小児がん医療の質を表す指標 (QI) の作成と小児がん連携病院における適応に関する研究」は、国立成育医療研究センターの倫理審査委員会にて承認を得た(課題番号 2020-265, 2021年1月4日承認)。

C. 研究結果

1) 小児がん拠点病院 QI の測定

① 小児がん拠点病院 QI のブラッシュアップ

班員より自薦他薦にて指標検討ワーキングを構成し、新規指標および定義修正を行った。令和4年度の新規採用指標として「がんリハビリテーション料算定率」を採用した。「急性リンパ性白血病寛解導入療法中の輸血量」に関しては、経年変化が乏しいことから削除指標とした。定義修正は7指標で、「小児血液・がん専門医取得を目指す小児科医1人あたりの小児血液・がん指導医数」では、“小児血液・がん専門医取得を目指す小児科医”の定義を新たに設定した。「専門・認定看護師数」「療養支援担当者数」「保育士数」の収集定義を明らかにした。また、「急性リンパ性白血病における平均在院日数」「中央病理診断提出率」「妊孕性温存提案・実施数」において

も軽微な修正を加えた。また、今年度は3年毎に算定している「同種造血幹細胞移植後100日以内における合併症関連死亡率」の算定も行った。

2020年指標としては合計32指標(構造指標11、過程指標15、結果指標6)を継続選定し、7指標の定義に修正を加えた。

② 小児がん拠点病院 QI の測定と結果

2019年指標の中で、緩和医療関連指標、拠点病院との連携について解析し、第125回日本小児科学会学術集会(2022.4 福島)にて発表した。緩和ケア加算算定率に関しては、小児がん入院患者全体での算定率10%未満が、入院患者のいた算出施設99施設中73施設(うち42施設は0%、小児病院は8施設中6施設が0%)であった。また、緩和ケア加算施設基準については、回答があった施設のうち、大学病院・総合病院では98施設中93施設が届出ありであったが、小児病院7施設中3施設のみ届出ありであった。緩和医療の提供体制が不十分な施設も多く、特に小児病院では体制整備が必要であることを示した。

2020年指標に関して、令和4年7月26日に小児がん拠点病院 QI 説明会(Web開催)を開催し、指標定義解釈や算定方法の共有を行った上で、測定した。

構造指標としては、小児血液・がん専門医、指導医数の最少施設は2人であり、小児がん認定外科医が0人の施設があった。小児がん認定外科医に関しては、総数・常勤とも減った施設が散見された。病理専門医0人の施設が解消したが、専門・認定薬剤師0人の施設が3施設あった。緩和医療専門医・指導医は徐々に増えている傾向に

あったが、患者主治医・担当医のみならず、緩和ケアチーム医師でも PEACE 受講率が低い施設があった。HPS/CLS/こども療養支援士は再び 0 人の施設が出現した。

結果・過程指標としては、中央病理診断同意があるうちの中央病理診断提出率が比較的低い施設があった。開頭術の手術部位感染率 10%台が 3 施設（うち複数感染があった施設は 2）あり、脳腫瘍摘出後の予定しない再手術では、複数例ある再手術率 30%以上の施設が 2 施設あった。

外来化学療法加算は施設差が大きいことが明らかになった。平均在院日数（ALL）は全施設 100 日以下となり、死亡患者の転院率は増加傾向にあった。

卵子（卵巣）保存が大きく増えた施設があった。治験実施数、治験登録患者数は施設差が大きかった。

2) 小児がん連携病院 QI の測定

①小児がん連携病院 QI の測定項目の決定

指標検討ワーキングによって、2020 年小児がん連携病院 QI を作成した。今年度は、拠点病院 QI と同じく、「がんリハビリテーション料算定率」を指標に加えた。また、3 年毎に算定している「同種造血幹細胞移植後 100 日以内における合併症関連死亡率」の算定も行うこととした。「拠点病院等との連携状況・多職種連携状況」に関しては、セカンドオピニオンと紹介患者について、それぞれブロック内とブロック外に分けて算出することにした。

構造指標 10、過程指標 9、結果指標 3 の合計 22 指標を選定した。

	拠点病院QI	連携病院QI
小児血液がん専門医・（暫定）指導医数	○	○
レジデント1人あたりの小児血液がん指導医数	○	X
小児がん認定外科医数	○	○
放射線治療専門医数	○	○
病理専門医数	○	○
専門・認定看護師数	○	○
専門・認定薬剤師数	○	○
緩和医療認定医・専門医・指導医数	○	○
緩和ケア研修会終了者数	X	○
療養支援担当者数*（HPS、CLS、こども療養支援士、臨床心理士、社会福祉士）	○	○
小児がん相談員専門研修修了者数	X	○
保育士数	○	○
臨床研究コーディネーター数	○	X
治療開始時間*（血液腫瘍、固形腫瘍、脳腫瘍）	○	X
病理報告所要時間	○	X
中央病理診断提出率	○	○
輸血量	○	X
外来化学療法件数	○	○
平均在院日数（ALL）	○	○
長期フォローアップ外来受診率	○	○
緩和ケアチーム介入率	○	○
院内学級への転籍率	○	○
復学カンファレンス実施率	○	○
拠点病院等との連携・多職種連携状況	X	○
AYA世代比率	○	X
死亡前30日間における在宅日数	○	X
相談支援センターにおける小児がん相談件数	○	X
妊孕性保存提案・実施数	○	X
治験・臨床試験実施数	○	X
がんリハビリテーション料算定率	○	○
中心静脈カテーテル関連血流感染率	○	X
化学療法関連死亡率	X	○
手術部位感染発生率	○	X
術後治療開始日数（小児外科、脳外科）	○	X
術後30日以内の手術関連死亡率	X	○
脳腫瘍の摘出後1ヵ月までの予定しない再手術率	○	X
脳腫瘍に合併する水頭症に対するシャント手術の術後1ヵ月までの予定しない再手術率	○	X
同種造血幹細胞移植後100日以内における合併症関連死亡率	○	○

②小児がん連携病院 QI の測定

令和 2（2020）年分指標値について、12 月末までに集計し、データクリーニングの上解析した。令和 3（2021）年分連携病院 QI については、令和 4 年 12 月末までに集計し、現在データクリーニング中であり、2023 年度に解析予定である。

③小児がん連携病院 QI に関する問題点の抽出

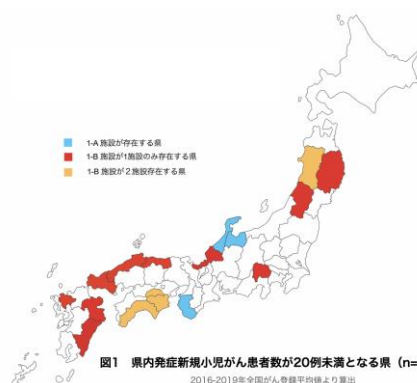
小児がん連携病院 QI に関して、令和 4 年 9 月 28 日～10 月 1 日開催の第 54 回国際小児がん学会学術集会（SIOP2022, Barcelona）にて、発表した。小児がん連携病院での医療は比較的小規模で、構造的

に十分ではないことを明らかにし、拠点病院との相違、大学病院・総合病院と小児病院間における、小児がん医療に関わる人員配置の相違を示した。

小児がん連携病院（類型1）における緩和医療については、まず特に小児病院において緩和医療認定医・専門医・指導医の配置がされていないことが明らかになった。また、小児病院においては加算施設基準届け出がされていない施設も多かった。小児病院における緩和ケア専門医の配置を進めるには、がんだけでなく非がん患者に対しても診療報酬が算定できるような仕組みが必要であると考えられた。小児緩和ケア研修会である CLIC の修了率が小児病院に限定してもそれほど高くないことが問題であり、これらの研修を一層推進する必要があると考えられた。

また、小児がん連携病院類型1層別化に関して、令和5年4月14日開催の第126回日本小児科学会学術集会にて、発表した。年間新患数20例以上を類型1-Aとした場合、39施設が相当し、病院数では類型1の37.2%、患者数は62.2%となった。1-A、1-Bの小児病院比率はそれぞれ10.3%、7.6%であった。小児がん専門医、小児がん認定外科医、専門・認定看護師、緩和医療認定医・専門医・指導医、療養支援担当者の数において1-Aの方が1-Bよりも優っていた。ALL患者の在院日数は1-A、1-B間で有意差を認めなかったが、拠点病院よりも長い傾向にあった（平均45.6日、83.2日、73.1日）。死亡患者数は拠点、1-A、1-Bでそれぞれ平均5.3±0.84人、2.2±0.30人、0.8±0.13人（ $p<0.001$ ）であった。小児がん新入院患者数あたりの死亡率は、拠点、1-A、1-Bでそ

れぞれ $7.98\pm 1.17\%$ 、 $7.35\pm 0.93\%$ 、 $6.24\pm 0.99\%$ と有意差はなかった。しかし、小児がん新入院患者数あたりの死亡率は、県内発症数が20例未満で1-Bしか存在しない県での連携病院では、2倍程度高く有意差を認めた。なお、死亡30日前に緩和ケア加算を算定した率は、拠点、1-A、1-Bでそれぞれ平均 $42.2\pm 11.7\%$ 、 $25.8\pm 7.09\%$ 、 $43.3\pm 8.25\%$ であった。



小児がん拠点病院と連携病院の連携に関しては、地域差が認められたが、地域特有の問題や小児がん連携病院数が影響している可能性が示唆された。セカンドオピニオンに関しては、地理的要因が反映されており、今後、オンラインセカンドオピニオンなどの活用により、地域格差を埋めることが期待される。

④次期がん対策推進基本計画に向けての指標の提言

次期小児がん拠点病院の要件改定に対して、令和4年6月27日に行われた第2回小児がん拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループの検討資料として、HPS/CLS/こども療養支援士の実態について報告した。<https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/000956375.pdf>

今回の小児がん拠点病院指定要件の変更に関して、診療患者数によって連携病院 1-A, 1-B に層別化することが議論され、連携 QI の解析を机上資料として、第 1 回 小児がん拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ（令和 4 年 1 月 17 日開催）に提出した。なお、連携病院 1-A, 1-B の層別化に関しては、今回の研究で得られたデータからシミュレーションを行い、類型 1 の中で患者数の少ない施設であっても同等の治療・支援が行われている可能性を示した（令和 5 年 4 月第 126 回日本小児科学会学術集会にて発表）。また、拠点病院において、小児血液がん専門医・暫定指導医数は漸増しているが最少施設は 2 人であること、小児がん認定外科医が在籍しない施設は解消したこと、医師に対する緩和ケア教育プログラム受講率が低い施設があること、保育士や療養支援担当者数は大学病院で少ないこと、化学療法関連死亡率・手術関連死亡率は低いこと、外来化学療法加算算定率や急性リンパ性白血病での平均在院日数、治験の実施数・登録患者数などは施設差がみられること、看取り期の転院率が増加傾向であること、卵子・卵巣保存が大きく増えてきた施設があることなどが示唆され、各施設での対応や施策および今後の算定継続が望まれると報告した。

さらに、連携病院において、保育士と比較して療養支援担当者の配置の後退は、小児病院ではなく、大学病院・総合病院での減少を反映していることが明らかになり、今後診療報酬につながる対策を講じる必要があると考えられた。

D. 考察

今回の研究で、小児がん拠点病院 QI および小児がん連携病院 QI を設定し継続的に計測することで、日本における小児がん医療の質を評価することが可能となり、小児がん対策の基礎資料となりうると考えられた。

小児がん拠点病院 QI は小児がんを数多く診療する拠点病院を対象とした指標であるため、小児がん連携病院の医療の質の評価にそのまま流用することは困難である。新たに制定した小児がん連携病院 QI には、すでに拠点病院では達成可能であった指標を改めて導入し、拠点病院との連携を測る新たな指標を導入するなどの工夫をおこなった。連携病院において、拠点病院と共通の指標を測定することで、小児がん拠点病院と小児がん連携病院における小児がん診療の相違を明確化することができ、地域による差も明確にすることで、地域における問題点も抽出できると考えられた。

2019 年および 2020 年の連携病院 QI 解析結果から、日本の小児がん医療の実態を明らかにすることに成功した。小児がん連携病院での医療は比較的小規模で、構造的に十分ではないことが明らかになり、大学病院・総合病院と小児病院では、小児がん医療に関わる人員配置が大きく異なることが明らかになった。

構造指標に関しては、小児病院と大学病院におけるリソースの差が大きく、実態を反映していない可能性があると考えられた。例えば、小児がんの診断を行う病理医の数を見た場合、大学病院には病理学講座が必ず存在し、比較的多数の人員を報告することができるが、一般病院や小児病院ではその数は極端に少なくなる。保育士の数

に関しても、小児病院では病院全体で比較的多数の人員が配置されているが、大学病院ではその配置は小児系病棟に限られるため必然的に少数となる。小児がんに直接関与する人員を指標として定めることができれば良いが、実臨床ではこれらを分別することは困難である。客観的な比較が容易となりかつ正確に実態を把握する指標の開発が今後必要であると考えられた。

小児がん連携病院（類型1）について、診療患者数の違いにより、1-A、1-Bに層別化することの妥当性を検討した。類型1の中で患者数の少ない1-B施設であっても拠点病院あるいは1-A施設と同等の治療・支援が行われている可能性が示唆された。しかしながら、療養支援担当者数には差があり、今後の課題となると考える。また、小児がん新入院患者数あたりの死亡率は、県内発症数が20例未満で1-Bしか存在しない県での連携病院では、他の1-B施設よりも2倍程度高くなっており、有意差を認めた。地域の問題から、重症患者を診療せざるを得ない状況が存在する可能性も否定できず。今後の精査が必要である。

1-A施設は、成人病院との連携を進めるため、がん連携拠点病院の都道府県協議会などに積極的に参画することが求められている。診療県の人口から1-Aになり得ない連携病院も存在することが考えられ、今後そのような県に対する何らかの方策が必要であると考えられた。2023年度以降の実際の層別化により、実際の集約化・均てん化の進捗状況に注視する必要がある。

また、現在連携病院QIは類型1にしか適応されていないが、今後類型2や3に対しても対象を拡大する必要がある。特に、類型

3に関しては、長期フォローアップを専門に行う病院であるにもかかわらず、現況報告で見る限り、長期フォローアップ外来すら設置されていない病院も散見される。連携病院の類型が形骸化しないためにも、QIを通して、連携病院の診療の質を担保する努力が必要である。

表2 層別化した小児がん連携病院の過程・結果指標

	拠点病院	1-A	1-B	p (vs 拠点病院)	1-B	1-B(S)	p
ALL患者の診療実数	9.07±1.53	4.91±0.42	4.67±0.60	<0.005	4.94±0.82	4.00±0.47	0.476
ALL患者の在院日数	45.6±8.0	83.2±11.6	73.1±8.2	<0.05(1-A)	68.1±9.1	85.2±17.4	0.346
死亡患者数	5.29±0.84	2.18±0.30	0.79±0.13	<0.001	0.62±0.14	2.89±0.44	0.777
小児がん新入院患者数あたりの死亡率	7.98±1.17	7.35±0.93	6.24±0.99	NS	4.56±1.01	10.61±2.13	<0.01
死亡30日前に緩和ケア加算を算定した率	42.2±11.7	25.8±7.09	43.3±8.25	NS	40.2±10.7	47.4±13.3	0.671

E. 結論

拠点病院に関しては、小児血液・がん専門医数の漸増傾向やHPS/CLS/こども療養支援士の配置など整備の進んだ面が明らかになった。一方、小児がん認定外科医の配置、放射線治療専門医、病理専門医、専門・認定薬剤師の配置、中央病理提出、男性の妊孕性温存の実施など、整備が遅れている部分も明らかになった。

連携病院に関しては、小児がん連携病院での医療は比較的小規模で、構造的に十分ではないことが明らかになり、大学病院・総合病院と小児病院では、小児がん医療に関わる人員配置が大きく異なっていた。今

回、診療患者数の違いにより、1-A、1-Bに層別化することの妥当性を検討したが、類型1の中で患者数の少ない施設であっても同等の治療・支援が行われている可能性が示唆された。2023年度以降の実際の層別化により、実際の集約化・均てん化の進捗状況に注視する必要がある。

E. 健康危険情報

該当せず

F. 研究発表

1. 論文発表

別添

2. 学会発表

別添

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

該当なし

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
康勝好	AYA世代のALLの治療	金倉讓	EBM 血液疾患の治療	中外医学者	東京	2021	163-167
松本 公一	【移行期医療について考える】移行期医療の現状と課題について		小児血液・腫瘍疾患	小児科臨床		2021	664-668
松本 公一	【希少がん-がん診療の新たな課題-】希少がん総論		希少がん小児医療	日本臨床		2021	124-130
笹原洋二	横紋筋肉腫	日本臨床腫瘍学会	新臨床腫瘍学	南光堂	東京	2021	564-566
康 勝好	B前駆細胞性ALLの診断・治療	滝田順子	小児科ベストプラクティス 小児白血病・リンパ腫	中山書店	東京	2021	32-38
康 勝好	AYA世代のALLの治療	金倉讓	EBM 血液疾患の治療	中外医学社	東京	2021	163-167
後藤裕明	貧血	水口雅 / 山形崇倫	臨床ガイド小児科 専門医の診断・治療	株式会社南山堂	東京	2021	239-244
後藤裕明	急性リンパ性白血病；再発ALLの診断・治療	滝田順子	小児科ベストプラクティス 小児白血病・リンパ腫 - Strategy and Practice	株式会社中山書店	東京	2021	68-72
後藤裕明	難治性急性リンパ性白血病の治療の展開	滝田順子	医学のあゆみ	医歯薬出版株式会社	東京	2022	10-14
康勝好	AYA世代急性リンパ性白血病に対する臨床試験の課題	滝田順子	別冊医学のあゆみ 小児・AYAがんの最前線	医歯薬出版株式会社	東京	2022	35-40
康勝好	AYA世代急性リンパ性白血病に対して小児型治療をすべきか？	金子一成	小児科診療 Controversy	中外医学社	東京	2022	250-255
康勝好	神経芽腫	小室一成他	今日の治療指針 私はこう治療している TODAY'S THERAPY 2022	医学書院	東京	2022	1489-90
後藤裕明	難治性急性リンパ性白血病の治療の展開	滝田順子	医学の歩み「小児・AYAがんの最前線」	医歯薬出版株式会社	東京	2022年	10-14

加藤実穂, 瀧本哲也	疫学	日本小児血液・がん学会編	小児血液・腫瘍学, 改訂第2版	診断と治療社	東京	2022	61-64
加藤実穂, 瀧本哲也	臨床試験	日本小児血液・がん学会編	小児血液・腫瘍学, 改訂第2版	診断と治療社	東京	2022	351-355

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hasegawa D, Imamura T, Yumura-Yagi K, Takahashi Y, Usami I, Suenobu SI, Nishimura S, Suzuki N, Hashii Y, Deguchi T, Moriyama Saito A, Kato K, Kosaka Y, Hirayama M, Iguchi A, Kawasaki H, Hori H, Sato A, Kudoh T, Nakahata T, Oda M, Hara J, Horibe K; Japan Association of Childhood Leukemia Study Group (JACLS).	Risk-adjusted therapy for pediatric non-T cell ALL improves outcomes for standard risk patients: results of JACLS ALL-02.	Blood Cancer J.	10	23	2020
Yanagimachi M, Kato K, Iguchi A, Sasaki K, Kiyotani C, Koh K, Koike T, Sanjo H, Shigemura T, Muramatsu H, Okada K, Inoue M, Tabuchi K, Nishimura T, Mizukami T, Nunoi H, Imai K, Kobayashi M, Morio T.	Hematopoietic Cell Transplantation for Chronic Granulomatous Disease in Japan.	Front Immunol.	11	1617	2020
Tomizawa D, Miyamura T, Imamura T, Watanabe T, Saito A, Ogawa A, Takahashi Y, Hirayama M, Taki T, Deguchi T, Hori T, Sanada M, Ohmori S, Habamatsu M, Iguchi A, Arakawa Y, Koga Y, Manabe A, Horibe K, Ishii E, Koh K.	A risk-stratified therapy for infants with acute lymphoblastic leukemia: a report from the JPLSG MLL-10 trial.	Blood	136	1813-1823	2020
Koyamaishi S, Kamio T, Kobayashi A, Sato T, Kudo K, Sasaki S, Kanezaki R, Hasegawa D, Muramatsu H, Takahashi Y, Sasahara Y, Terui K, Ito E, et al.	Reduced intensity conditioning is effective for hematopoietic stem cell transplantation in young pediatric patients with Diamond-Blackfan anemia.	Bone Marrow Transplant			in press
Soejima T, Sato I, Takita J, Koh K, Kaneko T, Inada H, Ozono S, Kamibeppu K.	Impacts of Physical Late Effects on Presenteeism in Childhood Cancer Survivors.	Pediatr Int.	62	1241-1249	2020
森 麻希子, 柳 将人, 磯部清孝, 荒川 ゆうき, 花田 良二, 涌井 剛, 三原 和弘, 康 勝好	高校生のがん治療における学習支援の重要性	日本小児科学会雑誌	124	1548-1552	2020

Okamoto Y, Nakazawa Y, Inoue M, Watanabe K, Gotō H, Yoshida N, Noguchi M, Kikuta A, Kato K, Hashii Y, Atsuta Y, Kato M.	Hematopoietic stem cell transplantation in children and adolescents with nonremission acute lymphoblastic leukemia.	Pediatr Blood Cancer	67(12)	e28732	2020
Kawaguchi K, Umeda K, Takachi T, Ogura T, Horikoshi Y, Saida S, Kato I, Hiramatsu H, Adachi S, Takita J, Watanabe K.	Effects of cryotherapy on high-dose melphalan-induced oral mucositis in pediatric patients undergoing autologous stem cell transplantation.	Pediatr Blood Cancer	67(9)	e28495	2020
Hiyama E, Hishiki T, Watanabe K, Ida K, Ueda Y, Kurihara S, Yano M, Hoshino K, Yokoi A, Takama Y, Nogami Y, Taguchi T, Mori M, Kihira K, Miyazaki O, Fuji H, Honda S, Iehara T, Kazama T, Fujimura J, Tanaka Y, Inoue T, Tajiri T, Kondō S, Oue T, Yoshimura K	Outcome and Late Complications of Hepatoblastomas Treated Using the Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor 2 Protocol	J Clin Oncol	38(22)	2488-2498	2020
Yoshida N, Sakaguchi H, Yabe M, Hasegawa D, Hama A, Hasegawa D, Kato M, Noguchi M, Terui K, Takahashi Y, Cho Y, Sato M, Koh K, Kakuda H, Shimada H, Hashii Y, Sato A, Kato K, Atsuta Y, Watanabe K	Clinical Outcomes after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation in Children with Juvenile Myelomonocytic Leukemia: A Report from the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation	Biol Blood Marrow Transplant	26(5)	902-910	2020
Sakaguchi Y, Natsume J, Kidokoro H, Tanaka M, Okai Y, Ito Y, Yamamoto H, Ohno A, Nakata T, Nakane T, Kawai H, Taoka T, Muramatsu H, Naganawa S, Takahashi Y.	Change of White Matter Integrity in Children with Hematopoietic Stem Cell Transplantation.	Pediatr Neurol	111	78-84	2020
Iwamoto S, Hori H, Sakata K, Kawamata A, Suefuji M, Igura C, Yodoya N, Matsubara T, Ogura T, Komada Y, Hirayama M.	Impact of a multi-professional expert team on EOL care of children with cancer.	Pediatr Int.	doi: 10.1111/ped.14626. Epub ahead of print.	doi: 10.1111/ped.14626. Epub ahead of print.	2021

6.Yabe M, Morio T, Tabuchi K, Tomizawa D, Hasegawa D, Ishida H, Yoshida N, Koike T, Takahashi Y, Koh K, Okamoto Y, Sano H, Kato K, Kanda Y, Goto H, Takita J, Miyamura T, Noguchi M, Kato K, Hashii Y, Astuta Y, Yabe H.	Long-term outcome in patients with Fanconi anemia who received hematopoietic stem cell transplantation: a retrospective nationwide analysis	Int J Hematol.	Sep 19		2020
12.Soejima T, Sato I, Takita J, Koh K, Kaneko T, Inada H, Ozono S, Kamibepu K.	Impacts of Physical Late Effects on Presenteeism in Childhood Cancer Survivors.	Pediatr Int	May	13	2020
<u>Iehara T*</u> , Manabe A, Hosoi H.	Statement on the prevention and treatment of COVID-19 in patients with pediatric cancer in Japan.	Pediatr Blood Cancer.	22	doi: 10.1002/pbc.28440. Epub ahead of print.	2020
<u>Iehara T*</u> , Yoneda A, Kikuta A, Muraji T, Tokiwa K, Takahashi H, Teramukai S, Takimoto T, Yagyu S, Hosoi H, Tajiri T	Japan Children's Cancer Group Neuroblastoma Committee. A phase II JN-I-10 efficacy study of IDRF-based surgical decisions and stepwise treatment intensification for patients with intermediate-risk neuroblastoma: a study protocol.	BMC Pediatr.	20(1)	doi: 10.1186/s12887-020-02061-5.	2020
Hiyama E, Hishiki T, Watanabe K, Ida K, Ueda Y, Kurihara S, Yano M, Hoshino K, Yokoi A, Takama Y, Nogami Y, Taguchi T, Mori M, Kihira K, Miyazaki O, Fuji H, Honda S, <u>Iehara T</u> , Kazama T, Fujimura J, Tanaka Y, Inoue T, Tajiri T, Kondo S, Oue T, Yoshimura K.	Outcome and Late Complications of Hepatoblastomas Treated Using the Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor 2 Protocol.	J Clin Oncol.	18	doi: 10.1200/JCO.19.01067	2020
Hiramaoto R, Miyachi M, Nitta Y, Yoshida H, Kuwahara Y, Tsuchiya K, <u>Iehara T</u> , Yarita K, Kamei K, Hosoi H.	Detection of circulating fungal DNA by polymerase chain reaction in a fatal case of <i>Cunninghamella bertholletiae</i> infection.	IDCases	20	doi: 10.1016/j.idcr.2020.e00760. eCollection 2020.	2020
家原知子,長谷川大輔.	COVID-19流行時における小児血液・腫瘍性疾患のマネジメント	臨床血液	62	125-129	2021
井上雅美	移植を経験した子どもたち	日本造血細胞移植学会雑誌	9巻1号	1-5ページ	2020年

Hasegawa D, Tawa A, Tomizawa D, Watanabe T, Saito MA, Kudo K, Taga T, Iwamoto S, Shimada A, Terui K, Miritake H, Kinoshita A, Takahashi H, Nakayama H, Koh K, Goto H, Kosaka Y, Miyachi H, Horibe K, Nakahata T, Adachi S.	Attempts to optimize post-induction treatment in childhood acute myeloid leukemia without core binding factors: a report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group (JPLSG).	Pediatr Blood Cancer	67(12)	e28692	2020
Aoki T, Takahashi H, Tanaka S, Shiba N, Hasegawa D, Iwamoto S, Terui K, Miritake H, Nakayama H, Shimada A, Koh K, Goto H, Kosaka Y, Saito AM, Horibe K, Kinoshita A, Tawa A, Taga T, Adachi S, Tomizawa D.	Predisposition to prolonged neutropenia after chemotherapy for paediatric acute myeloid leukaemia is associated with better prognosis in the Japanese Paediatric Leukaemia/Lymphoma Study Group AML-05 study.	Br J Haematol.	193(1)	176-180.	2020
Matsumoto K, Yamamoto K, Ozono S, Hashimoto H, Horibe K.	Differences in approach of cancer specialists toward AYA cancer care.	Pediatric International 2022 in press	Pediatric International 2022 in press	https://doi.org/10.1111/ped.15119	2022
Ono M, Matsumoto K, Boku N, Fujii N, Tsuchida Y, Furui T, Harada M, Kanda Y, Kawai A, Miyachi M, Murashima A, Nakayama R, Nishiyama H, Shimizu C, Sugiyama K, Takai Y, Fujio K, Morishige KI, Osuga Y, Suzuki N.	Indications for fertility preservation not included in the 2017 Japan Society of Clinical Oncology Guideline for Fertility Preservation in Pediatric, Adolescent, and Young Adult Patients treated with gonadal toxicity	including benign diseases. Int J Clin Oncol.	2021 Nov 17	doi: 10.1007/s10147-021-02082-9. Epub ahead of print. PMID: 34791542.	2021
Hara J, Kosaka Y, Koh K, Matsumoto K, Kumamoto T, Fujisaki H, Ishida Y, Suzuki R, Mochizuki S, Goto H, Yuza Y, Koga Y.	Phase III study of palonosetron for prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in pediatric patients.	Jpn J Clin Oncol.	2021 Aug 1	51(8):1204-1211. doi: 10.1093/jco/hyab079.	2021
Yotani N, Shinjo D, Kato M, Matsumoto K, Fushimi K, Kizawa Y.	Current status of intensive end-of-life care in children with hematologic malignancy	a population-based study. BMC Palliat Care.	2021 Jun 7	20(1):82. doi:10.1186/s12904-021-00776-5.	2021
Okamoto M, Yamaguchi S, Ishi Y, Motegi H, Mori T, Hashimoto T, Terashita Y, Hirabayashi S, Sugiyama M, Iguchi A, Cho Y, Manabe A, Houkin K.	Diagnostic Capability of Cerebrospinal Fluid-Placental Alkaline Phosphatase Value in Intracranial Germ Cell Tumor.	Oncology	99	23-31	2021
Yukitomo Ishi, Ai Shimizu, Emi Takakuwa, Minako Sugiyama, Michinari Okamoto, Hiroaki Motegi, Shinsuke Hirabayashi, Yuko Cho, Akihiro Iguchi, Atsushi Manabe, Sumihito Nobusawa, Shinya Tanaka, Shigeru Yamaguchi.	High-grade neuroepithelial tumor with BCL6 corepressor-alteration presenting pathological and radiological calcification: A case report.	Pathol Int.	71	248-354	2021

Sugiyama M, Hirabayashi S, Ishi Y, Kikuchi J, Ishikura A, Motegi H, Ueda Y, Sawai S, Hara K, Terashita Y, Cho Y, Takakuwa E, Honda S, Yamaguchi S, Kinoshita I, Manabe A.	Notable therapeutic response in a patient with systemic juvenile xanthogranuloma with KIF5B-ALK fusion.	Pediatr Blood Canc	68	e29227	2021
Hirabayashi S, Butler ER, Ohki K, Kiyokawa N, Bergmann AK, Mörücke A, Boer JM, Cavé H, Cazzaniga G, Yeoh AEJ, Sanada M, Imamura T, Inaba H, Mullighan C, Loh ML, Norén-Nyström U, Pastorczak A, Shih LY, Zaliouva M, Pui CH, Haas OA, Harrison CJ, Moorman AV, Manabe A:	Clinical characteristics and outcomes of B-ALL with ZNF384 rearrangements: A retrospective analysis by the Ponte di Legno Childhood ALL Working Group.	Leukemia	35	3272-3277	2021
Arakawa A, Ichikawa H, Kubo T, Motoi N, Kumamoto T, Nakajima M, Yonemori K, Noguchi E, Sunami K, Shiraishi K, Kakishima H, Yoshida H, Hishiki T, Kawakubo N, Kuroda T, Kiyokawa T, Yamada K, Yanaiharu N, Takahashi K, Okamoto A, Hirabayashi S, Hasegawa D, Manabe A, Ono K, Matsuoka M, Arai Y, Togashi Y, Shibata T, Nishikawa H, Aoki K, Yamamoto N, Kohno T, Ogawa C	Vaginal transmission of cancer from mothers with cervical cancer to infants.	N Engl J Med	384	42-50	2021
Kikuchi J, Ohhara Y, Takada K, Tanabe H, Hatanaka K, Amano T, Hatanaka K, Hatanaka Y, Mitsumura T, Kato M, Shibata Y, Yabe I, Endoh A, Komatsu Y, Matsuno Y, Sugiyama M, Manabe A, Sakurai A, Takahashi M, Naruse H, Torimoto Y, Akita HD, Kinoshita I	Clinical significance of comprehensive genomic profiling tests covered by public insurance in patients with advanced solid cancers in Hokkaido.	Jpn J Clin Oncol	51	753-761	2021
Honda Y, Muramatsu H, Nanjo Y, Hirabayashi S, Meguro T, Yoshida N, Kakuda H, Ozono S, Wakamatsu M, Moritake H, Yasui M, Sano H, Manabe A, Sakashita K	A retrospective analysis of azacitidine treatment for juvenile myelomonocytic leukemia.	Int J Hematol	115	263-268	2021

Akahane K, Kimura S, Miyake K, Watanabe A, Kagami K, Yoshimura K, Shinohara T, Harama D, Kasai S, Goi K, Kawai T, Hata K, Kiyokawa N, Koh K, Imamura T, Horibe K, Look AT, Minegishi M, Sugita K, Takita J, Inukai T.	Association of allele-specific methylation of the ASNS gene with asparaginase sensitivity and prognosis in T-ALL.	Blood Adv		bloodadvances.202104271. doi: 10.1182/bloodadvances.202104271. Online ahead of print.	2021
Yoshida M, Nakabayashi K, Yang W, Sato-Otsubo A, Tsujimoto SI, Ogata-Kawata H, Kawai T, Ishiwata K, Sakamoto M, Okamura K, Yoshida K, Shirai R, Osumi T, Moriyama T, Nishi R, Takahashi H, Kiyotani C, Shioda Y, Terashima K, Ishimaru S, Yuza Y, Takagi M, Arakawa Y, Kinoshita A, Hino M, Imamura T, Hasegawa D, Nakazawa Y, Okuya M, Kakuda H, Takasugi N, Inoue A, Ohki K, Yoshioka T, Ito S, Tomizawa D, Koh K, Matsumoto K, Sanada M, Kiyokawa N, Ohara A, Ogawa S, Manabe A, Niwa A, Hata K, Yang JJ, Kato M	NUDT15 variants confer high incidence of second malignancies in children with acute lymphoblastic leukemia.	Blood Adv		bloodadvances.202105507. doi: 10.1182/bloodadvances.202105507. Online ahead of print.	2021
7. Mikami T, Kato I, Wing JB, Ueno H, Tasaka K, Tanaka K, Kubota H, Saito S, Umeda K, Hiramatsu H, Isobe T, Hiwatari M, Okada A, Chiba K, Shirai Y, Tanaka H, Miyano S, Arakawa Y, Oshima K, Koh K, Adachi S, Iwaisako K, Ogawa S, Sakaguchi S, Takita J.	Alteration of the immune environment in bone marrow from children with recurrent B cell precursor acute lymphoblastic leukemia.	Cancer Sci.		doi: 10.1111/cas.15186. Online ahead of print.	2021
Yoshida M, Tanaka M, Kitagawa N, Nozawa K, Shinokai M, Goto H, Tanaka Y. Clinicopathological study of surgery for pulmonary metastases of hepatoblastoma with indocyanine green fluorescent imaging.	Clinicopathological study of surgery for pulmonary metastases of hepatoblastoma with indocyanine green fluorescent imaging.	Pediatr Blood Canc		e29488	2021

Doz F, van Tilburg CM, Goerger B, Højgaard M, Øra I, Boni V, Capra M, Chisholm J, Chung HC, Dubois SG, Gallego-Melcon S, Gerber NU, Goto H, Grilley-Olson JE, Hansford JR, Hong DS, Italiano A, Kang HJ, Nysom K, Thorwarth A, Stefanowicz J, Tahara M, Ziegler DS, Gavrilovic IT, Norenberg R, Dima L, De La Cuesta E, Laetsch TW, Drilon A, Perreault S.	Efficacy and safety of larotrectinib in TRK fusion-positive primary central nervous system tumors. Neuro Oncol.	Neuro Oncol.		noab274	2021
Somazu S, Tanaka Y, Tamai M, Watanabe A, Kagami K, Abe M, Harama D, Shinohara T, Akahane K, Goto K, Sugita K, Moriyama T, Yang J, Goto H, Minegishi M, Iwamoto S, Takita J, Inukai T. NUDT15 polymorphism and NT5C2 and PRPS1 mutations influence thiopurine sensitivity in acute lymphoblastic leukaemia cells.	NUDT15 polymorphism and NT5C2 and PRPS1 mutations influence thiopurine sensitivity in acute lymphoblastic leukaemia cells.	J Cell Mol Med.	25(22)	10521-10533.	2021
Hijjiya N, Maschan A, Rizziari C, Shimada H, Dufour C, Goto H, Kang HJ, Guinipero T, Karakas Z, Bautista F, Ducassou S, Yoo KH, Zwaan CM, Millot F, Patterson B, Samis J, Aimone P, Allepuz A, Titorenko K, Sosothikul D.	A phase 2 study of nilotinib in pediatric patients with CML: long-term update on growth retardation and safety.	Blood Adv.	5(14)	2925-2934.	2021
Chang Y, Min J, Jarusiewicz JA, Actis M, Yu-Chen Bradford S, Mayasundari A, Yang L, Chepyala D, Alcock LJ, Roberts KG, Nithianantham S, Maxwell D, Rowland L, Larsen R, Seth A, Goto H, Imamura T, Akahane K, Hansen BS, Pruett-Miller SM, Paietta EM, Litzow MR, Qu C, Yang JJ, Fischer M, Rankovic Z, Mullighan CG.	Degradation of Janus kinases in CRLF2-rearranged acute lymphoblastic leukemia.	Blood.	138(23)	2313-2326.	2021
Hara J, Kosaka Y, Koh K, Matsumoto K, Kumamoto T, Fujisaki H, Ishida Y, Suzuki R, Mochizuki S, Goto H, Yuza Y, Koga Y.	Phase III study of palonosetron for prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in pediatric patients.	Jpn J Clin Oncol.	51(8)	1204-1211.	2021

Saito Y, Urashima M, Takahashi Y, Ogawa A, Kiyotani C, Yuza Y, Koh K, Watanabe K, Kosaka Y, Goto H, Kikuta A, Okada K, Koga Y, Fujimura J, Inoue M, Sato A, Atsuta Y, Matsumoto K.	Effect of high-dose chemotherapy plus stem cell rescue on the survival of patients with neuroblastoma modified by MYCN gene gain/amplification and remission status: a nationwide registration study in Japan.	Bone Marrow Transplant.	56(9)	2173-2182.	2021
Moritake H, Tanaka S, Miyamura T, Nakayama H, Shiba N, Shimada A, Terui K, Yuza Y, Koh K, Goto H, Kakuda H, Saito A, Hasegawa D, Iwamoto S, Taga T, Adachi S, Tomizawa D.	The outcomes of relapsed acute myeloid leukemia in children: Results from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group AML-05R study.	Pediatr Blood Cancer.	68(1)	e28736.	2021
Yabe M, Morio T, Tabuchi K, Tomizawa D, Hasegawa D, Ishida H, Yoshida N, Koike T, Takahashi Y, Koh K, Okamoto Y, Sano H, Kato K, Kanda Y, Goto H, Takita J, Miyamura T, Noguchi M, Kato K, Hashii Y, Astuta Y, Yabe H.	Long-term outcome in patients with Fanconi anemia who received hematopoietic stem cell transplantation: a retrospective nationwide analysis.	Int J Hematol.	113(1)	134-144.	2021
Zhao Y, Aldoss I, Qu C, Crawford JC, Gu Z, Allen EK, Zamora AE, Alexander TB, Wang J, Goto H, Imamura T, Akahane K, Marcucci G, Stein AS, Bhatia R, Thomas PG, Forman SJ, Mullighan CG, Roberts KG.	Tumor-intrinsic and -extrinsic determinants of response to blinatumomab in adults with B-ALL.	Blood.	137(4)	471-484.	2021
Kawahara Y, Morimoto A, Inagaki J, Koh K, Noguchi M, Goto H, Yoshida N, Cho Y, Hori T, Hiwatari M, Kato K, Ogawa A, Hashii Y, Inoue M, Kato K, Atsuta Y, Kimura F, Kato M.	Unrelated cord blood transplantation with myeloablative conditioning for pediatric acute lymphoblastic leukemia in remission: prognostic factors.	Bone Marrow Transplant.	56(2)	357-367.	2021
Aoki T, Takahashi H, Tanaka S, Shiba N, Hasegawa D, Iwamoto S, Terui K, Moritake H, Nakayama H, Shimada A, Koh K, Goto H, Kosaka Y, Saito AM, Horibe K, Kinoshita A, Tagawa A, Taga T, Adachi S, Tomizawa D.	Predisposition to prolonged neutropenia after chemotherapy for paediatric acute myeloid leukaemia is associated with better prognosis in the Japanese Paediatric Leukaemia/Lymphoma Study Group AML-05 study.	Br J Haematol.	193(1)	176-180.	2021

Ichikawa D, Yamashita K, Okuno Y, Muramatsu H, Murakami N, Suzuki K, Kojima D, Kataoka S, Hamada M, Taniguchi R, Nishikawa E, Kawashima N, Narita A, Nishio N, Hama A, Kasai K, Mizuno S, Shimoyama Y, Nakaguro M, Okita H, Kojima S, Nakazawa A, Takahashi Y.	Integrated diagnosis based on transcriptome analysis in suspected pediatric sarcomas.	NPJ Genom Med	6(1)	49	2021
Kawashima N, Nishikawa E, Tsuchisaka A, Hashimoto T, Okuno Y, Hamada M, Ichikawa D, Narita A, Muramatsu H, Nishio N, Kojima S, Muro Y, Takahashi Y.	Autoantibodies against the plakin family proteins as a novel marker for chronic graft-versus-host disease of the lung.	Bone Marrow Transplant.	56(9)	2291-2294	2021
Takachi T, Watanabe T, Miyamura T, Moriya Saito A, Deguchi T, Hori T, Yamada T, Ohmori S, Habam M, Aoki Y, Ishimaru S, Sasaki S, Ohshima J, Iguchi A, Takahashi Y, Hyakuna N, Manabe A, Horibe K, Ishii E, Koh K, Tomizawa D.	Hematopoietic stem cell transplantation for infants with high-risk KMT2A gene-rearranged acute lymphoblastic leukemia.	Blood Adv.	5(19)	3891-3899	2021
Matsui M, Makimoto A, Nishio N, Takahashi Y, Urahima M, Yuza Y.	Predictive factors of acute respiratory events during initial induction chemotherapy in patients with advanced neuroblastoma.	Cancer Rep (Hoboken).		e1499	2021
Koyamaishi S, Kamio T, Kobayashi A, Sato T, Kudo K, Sasaki S, Kanezaki R, Hasegawa D, Muramatsu H, Takahashi Y, Sasahara Y, Hiramatsu H, Kakuda H, Tanaka M, Ishimura M, Nishi M, Ishiguro A, Yabe H, Sarashina T, Yamamoto M, Yuza Y, Hyakuna N, Yoshida K, Kanno H, Ohgata S, Ohara A, Kojima S, Miyano S, Ogawa S, Toki T, Terui K, Ito E.	Reduced-intensity conditioning is effective for hematopoietic stem cell transplantation in young pediatric patients with Diamond-Blackfan anemia.	Bone Marrow Transplant.	56(5)	1013-1020	2021
Narita A, Muramatsu H, Ichikawa D, Hamada M, Nishikawa E, Suzuki K, Kawashima N, Okuno Y, Nishio N, Hama A, Yamazaki H, Nakao S, Kojima S, Takahashi Y.	Relationship between plasma rabbit anti-thymocyte globulin concentration and immunosuppressive therapy response in patients with severe aplastic anemia.	Eur J Haematol.	107(2)	255-264	2021
Kawaguchi K, Azumi S, Itakura Y, Takachi T, Ogura T, Horikoshi Y, Suzuki K, Muramatsu H, Hama A, Takahashi Y, Watanabe K.	Acquisition of a rare NUP98-BPTF fusion gene associated with recurrence of acute myeloid leukemia.	Pediatr Blood Canc	68(10)	e29201	2021

Yokoyama H, Hirayama M, Takahashi Y, Uchida N, Tanaka M, Onizuka M, Ozawa Y, Onai D, Katsuoka Y, Wake A, Sawa M, Kobayashi H, Maruyama Y, Ozeki K, Kimura T, Kanda J, Fukuda T, Atsuta Y, Terakura S, Morishima S.	Altered effect of killer immunoglobulin-like receptor-ligand mismatch by graft versus host disease prophylaxis in cord blood transplantation.	Bone Marrow Transplant.	56(12)	3056-3067	2021
Kada A, Kikuta A, Saito AM, Kato K, Iguchi A, Yabe H, Ishida H, Hyakuna N, Takahashi Y, Nagasawa M, Hashii Y, Umeda K, Matsumoto K, Fujisaki H, Yano M, Nakazawa Y, Sano H.	Single-Arm Non-Blinded Multicenter Clinical Trial on T-Cell-Replete Haploidentical Stem Cell Transplantation Using Low-Dose Antithymocyte Globulin for Relapsed and Refractory Pediatric Acute Leukemia.	Kurume Med J.	66(3)	161-168	2021
Yamamoto S, Kato M, Watanabe K, Ishimaru S, Hasegawa D, Noguchi M, Hama A, Sato M, Koike T, Iwasaki F, Yagasaki H, Takahashi Y, Kosaka Y, Hashii Y, Morimoto A, Atsuta Y, Hasegawa D, Yoshida N.	Prognostic value of the revised International Prognostic Scoring System five-group cytogenetic abnormality classification for the outcome prediction of hematopoietic stem cell transplantation in pediatric myelodysplastic syndrome.	Bone Marrow Transplant.	56(12)	3016-3023	2021
Saito Y, Urashima M, Takahashi Y, Ogawa A, Kiyotani C, Yuza Y, Koh K, Watanabe K, Kosaka Y, Goto H, Kikuta A, Okada K, Kikoga Y, Fujimura J, Inoue M, Sato A, Atsuta Y, Matsumoto K.	Effect of high-dose chemotherapy plus stem cell rescue on the survival of patients with neuroblastoma modified by MYCN gene gain/amplification and remission status: a nationwide registration study in Japan.	Bone Marrow Transplant.	56(9)	2173-2182	2021
Hama A, Hasegawa D, Manabe A, Nozawa K, Narita A, Muramatsu H, Kosaka Y, Kobayashi M, Koh K, Takahashi Y, Watanabe K, Ohara A, Ito M, Kojima S.	Prospective validation of the provisional entity of refractory cytopenia of childhood, proposed by the World Health Organization.	Br J Haematol.	196(4)	1031-1039	2022
井倉千佳, ..., 平山雅浩	学童期以降に発症した小児がん経験者が退院後に抱える困難と必要な支援.	日本小児がん看護学会誌	16(1)	7-21	2021
Iwamoto S, ..., Hirayama M	Impact of a multi-professional expert team on EOL care of children with cancer.	Pediatr Int	63	1451-1457	2021
Kudo K, Kubota Y, Toki T, Kanezaki R, Kobayashi A, Sato T, Kamio T, Sasaki S, Shiba N, Tomizawa D, Adachi S, Yoshida K, Ogawa S, Seki M, Takita J, Terui K	Childhood acute myeloid leukemia with 5q deletion and HNRNPH1-MLLT10 fusion: The first case report	Blood Adv	Online ahead of print	Online ahead of print	2022

Tamai M, Kasai S, Akahane K, Thu TN, Kagami K, Komatsu C, Abe M, Watanabe A, Goi K, Miyake K, Inaba T, Takita J, Goto H, Minegishi M, Iwamoto S, Sugita K, Inukai T	Glucocorticoid receptor gene mutations confer glucocorticoid resistance in B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia.	J Steroid Biochem Mol Biol	218巻	106068	2022
Umeda K, Taura K, Kato I, Saida S, Hiramatsu H, Shimizu H, Nakamoto Y, Ueno M, Mizowaki T, Sakamoto A, Adachi S, Okamoto T, Takita J	Intensive Multimodal Therapy Combined With Long-term Temozolomide and Etoposide Treatment for Recurrent Osteosarcoma to the Liver and Stomach	J Pediatr Hematol Oncol	Online ahead of print	Online ahead of print	2022
Kouzuki K, Umeda K, Saida S, Kato I, Hiramatsu H, Okamoto T, Ogawa E, Okajima H, Furuta A, Adachi S, Daifu T, Takita J,	Successful right hepatic trisectionectomy following percutaneous transhepatic portal embolization in a pediatric patient with undifferentiated embryonal sarcoma of the liver.	Pediatr Blood Cancer	69巻2号	e29369	2022
Akahane K, Kimura S, Miyake K, Watanabe A, Kagami K, Yoshimura K, Shinohara T, Harama D, Kasai S, Goi K, Kawai T, Hata K, Kiyokawa N, Koh K, Iimamura T, Horibe K, Look AT, Minegishi M, Sugita K, Takita J, Inukai T	Association of allele-specific methylation of the ASNS gene with asparaginase sensitivity and prognosis in T-ALL.	Blood Adv	6巻1号	212-224	2022
Yaguchi T, Kimura S, Sekiguchi M, Kubota Y, Seki M, Yoshida K, Shiraiishi Y, Kataoka K, Fujii Y, Watanabe K, Hiwatari M, Miyano S, Ogawa S, Takita J	Description of longitudinal tumor evolution in a case of multiply relapsed clear cell sarcoma of the kidney.	Cancer Rep (Hoboken)	5巻2号	e1458	2022
Masuda T, Maeda S, Shimada S, Sakuramoto N, Morita K, Koyama A, Suzuki K, Mitsuda Y, Matsuo H, Kubota H, Kato I, Tanaka K, Takita J, Hirata M, Kataoka TR, Nakahata T, Adachi S, Hirai H, Mizuta S, Naka K, Imai Y, Kimura S, Sugiyama H, Kamikubo Y	RUNX1 transactivates BCR-ABL1 expression in Philadelphia chromosome positive acute lymphoblastic leukemia.	Cancer Sci	113巻2号	529-539	2022
Akazawa R, Otsuka S, Kato I, Imadome K, Takita J	Transient remission of chronic active EBV infection after chemotherapy alone.	Pediatr Int	64巻1号	e14836	2022
Yokosuka T, Ito M, Yoshino Y, Hirose A, Nakamura W, Sakurai Y, Hayashi A, Fujita S, Miyagawa N, Ketano D, Iwasaki F, Hamano S, Yanagimachi M, Gotou S, Nagai J, Ueno H, Takita J, Tanaka Y, Taga T, Goto H	Using the in vitro drug sensitivity test to identify candidate treatments for transient abnormal myelopoiesis.	Br J Haematol	196巻3号	764-768	2022

Mikami T, Kato I, Oiki N, Okamoto S, Kamitori, Tasaka K, Ogata H, Tanaka K, Umeda K, Hiramatsu H, Okamoto T, Adachi S, Takita J	Improvement of bone marrow necrosis by tyrosine kinase inhibitor substitution in a pediatric patient with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia.	J Pediatr Hematol Oncol	44卷2号	e539-e542	2022
Mikami T, Kato I, Wing JB, Ueno H, Tasaka K, Tanaka K, Kubota H, Saida S, Umeda K, Hiramatsu H, Isobe T, Hiwatari M, Okada A, Chiba K, Shiraishi Y, Tanaka H, Miyano S, Arakawa Y, Oshima K, Koh K, Adachi S, Iwaisako K, Ogawa S, Sakaguchi S, Takita J	Alteration of the immune environment in bone marrow from children with recurrent B cell precursor acute lymphoblastic leukemia.	Cancer Sci	113卷1号	41-52	2022
Imayoshi N, Yoshioka M, Tanaka K, Shyh-Ming Yang, Akahane K, Toda Y, Hosogi S, Inukai T, Okada S, David J Maloney, Nakahata T, Takita J, Kato I, Ashihara E	CN470 is a BET/CBP/p300 multi-bromodomain inhibitor and has an anti-tumor activity against MLL-rearranged acute lymphoblastic leukemia.	Biochem Biophys Res Commun	590卷	49-54	2021
Tasaka K, Ueno H, Yamasaki K, Okuno T, Isobe T, Kimura S, Umeda K, Hara J, Ogawa S, Takita J	Oncogenic FGFR1 mutation and amplification in common cellular origin in a composite tumor with neuroblastoma and pheochromocytoma.	Cancer Sci	Online ahead of print.		2021
Kouzuki K, Umeda K, Kawasaki H, Isobe K, Akazawa R, Tasaka K, Tanaka K, Kubota H, Saida S, Kato I, Hiramatsu H, Sonoda M, Okamoto T, Ogawa E, Kishida K, Takita J	Immature teratoma of the ovary associated with Cowderon syndrome.	Pediatr Blood Cancer	Online ahead of print.	e29555	2021
Kurata M, Onishi I, Takahara T, Yamazaki Y, Ishibashi S, Goitsuka R, Kitamura D, Takita J, Hayashi Y, David A Largaesapda, Kitagawa M, Nakamura T	C/EBP β induces B-cell acute lymphoblastic leukemia and cooperates with BLNK mutations.	Cancer Sci	112卷12号	4920-4930	2021
Kato T, Yamamoto M, Honda Y, Orimo T, Sasaki I, Murakami K, Hemmi H, Fukuda-Ohta Y, Isono K, Takayama S, Nakamura H, Otsuki Y, Miyamoto T, Takita J, Yasumi T, Nishikomori R, Matsubayashi T, Izawa K, Kaisho T	Augmentation of Stimulator of Interferon Genes-Induced Type I Interferon Production in COPA Syndrome.	Arthritis Rheumatol	73卷11号	2105-2115	2021

Somazu S, Tanaka Y, Tamai M, Watanabe A, Kagami K, Abe M, Harama D, Shinozawa T, Akahane K, Goto K, Sugita K, Moriyama T, Yang J, Goto H, Minegishi M, Iwamoto S, Takita J, Inukai T	NUDT15 polymorphism and NT5C2 and PRPS1 mutations influence thiopurine sensitivity in acute lymphoblastic leukaemia cells.	J Cell Mol Med	25卷22号	10521-10533	2021
Obu S, Umeda K, Ueno H, Sonoda M, Tasaka K, Ogata H, Kozuki K, Nodomi S, Saida S, Kato I, Hiramatsu H, Okamoto T, Ogawa E, Okajima H, Morita K, Kamikubo Y, Kawaguchi K, Watanabe K, Iwafuchi H, Yagyu S, Iehara T, Hosoi H, Nakahata T, Adachi S, Uemoto S, Heike T, Takita J	CD146 is a potential immunotarget for neuroblastoma	Cancer Sci	112卷11号	4617-4626	2021
Takita J	Molecular Basis and Clinical Features of Neuroblastoma	JMAJournal	4卷4号	321-331	2021
Daifu T, Mikami M, Hiramatsu H, Iwai A, Umeda K, Noura M, Kubota H, Masuda T, Furuichi K, Takasaki S, Noguchi Y, Morita K, Bando T, Hirata M, Kataoka TR, Nakahata T, Kuwahara Y, Iehara T, Hosoi H, Takita J, Sugiyama H, Adachi S, Kamikubo Y	Suppression of malignant rhabdoid tumors through Chb-M'-mediated RUNX1 inhibition	Pediatr Blood Cancer	68卷2号	e28789	2021
Yabe M, Morio T, Tabuchi K, Tomizawa D, Hasegawa D, Ishida H, Yoshida N, Koike T, Takahashi Y, Koh K, Okamoto Y, Sano H, Kato K, Kanda Y, Goto H, Takita J, Miyamura T, Noguchi M, Kato K, Hashii Y, Astuta Y, Yabe H	Long-term outcome in patients with Fanconi anemia who received hematopoietic stem cell transplantation: a retrospective nationwide analysis	Int J Hematol	113卷1号	134-144	2021
Ishii Y, Sato-Otsubo A, Takita J, Morio T, Takagi M	Copy Number Alteration Analysis for Neuroblastoma using Droplet Digital PCR	Pediatr Int	63卷10号	1192-1197	2021
Kimura S, Sekiguchi M, Watanabe K, Hiwatari M, Seki M, Yoshida K, Isobe T, Shiozawa Y, Suzuki H, Hoshino N, Hayashi Y, Oka A, Miyano S, Ogawa S, Takita J	Association of high-risk neuroblastoma classification based on expression profiles with differentiation and metabolism	PLoS One	16卷1号	e0245526	2021

Akazawa R, Kato I, Kubota H, Isobe K, Masuno H, Mikami M, Shiota M, Kouzuki K, Kawabata N, Tanaka K, Saida S, Umeda K, Hiramatsu H, Adachi S, Takita J	Inotuzumabozogamicin is an effective treatment for CD22-positive acute undifferentiated leukemia: A case report	Pediatr Blood Cancer	68卷5号	e28976	2021
Kamitori T, Umeda K, Akazawa R, Iwai A, Obu S, Isobe K, Saida S, Kato I, Hiramatsu H, Taga T, Adachi S, Takita J	Inotuzumab ozogamicin following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation successfully rescued relapse of CD19-negative acute lymphoblastic leukemia after CAR-T cell therapy	Pediatr Blood Cancer	68卷5号	e28980	2021
Tajima T, Hata K, Haga H, Nishikori M, Umeda K, Kusakabe J, Miyauchi H, Okamoto T, Ogawa E, Sonoda M, Hiramatsu H, Fujimoto M, Okajima H, Takita J, Takaori-Kondo A, Uemoto S	Post-transplant lymphoproliferative disorders after liver transplantation: A retrospective cohort study including 1954 transplants	Liver Transpl	27卷8号	1165-1180	2021
Yasudo H, Ando T, Maehara A, Ando T, Izawa K, Tanabe A, Kaitani A, Nomura S, Seki M, Yoshida K, Oda H, Okamoto Y, Wang H, Kamei A, Kojima M, Kimura M, Uchida K, Nakanishi N, Kaneko J, Ebihara N, Hasegawa K, Shimizu T, Takita J, Ogawa H, Okumura K, Ogawa S, Tamura N, Kitaura J	A Possible Association Between a Nucleotide-Binding Domain LRR-Containing Protein Family PYD-Containing Protein 1 Mutation and an Autoinflammatory Disease Involving Liver Cirrhosis	Hepatology	74卷4号	2296-2299	2021
Ono R, Ueno H, Yoshida K, Takahashi S, Yoshihara H, Nozaki T, Suzuki K, Nakazawa A, Saiki R, Seki M, Takita J, Ogawa S, Manabe A, Hasegawa D	Clonal evidence for the development of neuroblastoma with extensive copy-neutral loss of heterozygosity arising in a mature teratoma	Cancer Sci	112卷7号	2921-2927	2021
Kosaka T, Uto M, Hiraoka S, Kato I, Umeda K, Hiramatsu H, Sakamoto A, Takita J, Mizowaki T	Radiation recall myositis caused by pazopanib in a patient with refractory osteosarcoma	Pediatr Blood Cancer	68卷9号	e29147	2021
Van Thillo Q, De Bie J, Seneviratne JA, Demeyer S, Omari S, Balachandran A, Zhai V, Tam WL, Sweron B, Geerdens E, Gielen O, Provost S, Segers H, Boeckx N, Marshall GM, Cheung BB, Isobe K, Kato I, Takita J, Amos TG, Deveson IW, McCalmont H, Lock RB, Oxley EP, Garwood MM, Dickins RA, Uytendaele A, Carter DR, Cools J, de Bock CE	Oncogenic cooperation between TCF7-SPI1 and NRAS (G12D) requires β -catenin activity to drive T-cell acute lymphoblastic leukemia	Nat Commun	12卷1号	4164	2021

Maezawa T, Suzuki N, Takeuchi H, Kiyotani C, Amano K, Keino D, Okimura H, Miyachi M, Goto M, Takae S, Horie A, Takita J, Sago H, Hirayama M, Ikeda T, Matsumoto K	Identifying Issues in Fertility Preservation for Childhood and Adolescent Patients with Cancer at Pediatric Oncology Hospitals in Japan	J Adolesc Young Adult Oncol	Online ahead of print	Online ahead of print	2021
Tomii T, Imamura T, Tanaka K, Kato I, Mayumi A, Soma E, Yano M, Sakamoto K, Mikami T, Morita M, Kiyokawa N, Horibe K, Adachi S, Nakahata T, Takita J, Hosoi H	Leukemic cells expressing NCOR1-LYN are sensitive to dasatinib in vivo in a patient-derived xenograft mouse model	Leukemia	35巻7号	2092-2096	2021
Kato K, Yoshimi A, Noda A, Otani H, Hojo H, Tanaka M, Tanaka Y, Ito Y, Nishimura R, Takita J, Yanai T, Koike K, Tsuchida M	Distinct clonal evolution in a case with anaplastic embryonal rhabdomyosarcoma	Pediatr Int	63巻7号	782-789	2021
Matsuo H, Wakita T, Hiramatsu H, Ohmori K, Kodama K, Nakatani K, Kamikubo Y, Iwamoto S, Kondo T, Takaori-Kondo A, Takita J, Tomizawa D, Taga T, Adachi S	Blast cells in acute megakaryoblastic leukaemia with Down syndrome are characterized by low CLEC12A expression	Br J Haematol	192巻1号	e7-e11	2021
Kato S, Kubota Y, Sekiguchi M, Watanabe K, Shinozaki-Ushiku A, Takita J, Hiwatari M	KMT2A-rearranged diffuse large B-cell lymphoma in a child: a case report and molecular characterization	Pediatr Hematol Oncol	38巻3号	281-289	2021
内原 嘉仁, 梅田 雄嗣, 三上 真充, 山下 純英, 西田 南海子, 高木 雄久, 高橋 潤, 滝田 順子, 秦 大資, 塩田 光隆	頭蓋内非胚腫性胚細胞腫瘍治療10年後に脊髄神経鞘腫を発症した1例(原著論文/症例報告)	日本小児血液・がん学会雑誌	58巻3号	311-314	2021
関口 昌央, 滝田 順子	【小児・AYAがんの最前線】小児肝腫瘍の分子基盤と新規治療法の将来展望	医学のあゆみ	280巻1号	67-73	2022
大賀 正一, 米田 光宏, 大園 秀一, 滝田 順子	【小児科サブスペシャルティ領域の専門医制度のこれから】小児血液・がん(解説/特集)	小児科	62巻12号	1510-1515	2021
滝田 順子	【小児遺伝子疾患事典】腫瘍性疾患 PTEN(関連疾患:PTEN過誤腫症候群)(解説/特集)	小児科診療	84巻1号	1646-1648	2021
滝田 順子	小児・AYAがんにおけるゲノム医療の課題(解説)	腫瘍内科	28巻4号	399-405	2021
小山 朝美, 三上 貴司, 加藤 格, Wing James Badge, 神鳥 達哉, 田中 邦昭, 才田 聡, 梅田 雄嗣, 平松 英文, 足立 壯一, 祝迫 恵子, 坂口 志文, 滝田 順子	マササイトメトリーを用いた小児骨髄の免疫環境解析基盤の構築(原著論文)	日本小児科学会雑誌	125巻9号	1286-1293	2021

滝田 順子	【小児科診療up to date】小児T細胞性急性リンパ性白血病の分子基盤(解説/特集)	Precision Medicine	4巻6号	540-543	2021
滝田 順子	【～エキスパートの経験に学ぶ～小児科Decision Making】血液に関する病態 リンパ節腫脹(解説/特集)	小児科診療	84巻増刊	350-352	2021
Kanayama T, Miyachi M, Sugimoto Y, Yagyu S, Kikuchi K, Tsuchiya K, Iehara T, Hosoi H.	Reduced B7-H3 expression by PAX3-FOXO1 knockdown inhibits cellular motility and promotes myogenic differentiation in alveolar rhabdomyosarcoma.	Sci Rep.	22;11(1)	doi: 10.1038/s41598-021-98322-z,	2021
Katsumi Y, Iehara T, Kuwahara Y, Tsuchiya K, Konishi E, Hosoi H.	Diverse outcomes in extracranial rhabdoid tumors: A single institute experience.	Pediatr Hematol Oncol.	20	1-8	2021
Suematsu M, Yagyu S, Hosoi H, Iehara T.	Infantile mediastinal neuroblastoma presenting as an oncologic emergency: usefulness of serum-based MYCN gene amplification analysis for risk stratification.	BMJ Case Rep.	31;14(12)	doi: 10.1136/bcr-2021-246889,	2021
Miyagaki S, Kikuchi K, Mori J, Lopaschuk GD, Iehara T, Hosoi H.	Inhibition of lipid metabolism exerts antitumor effects on rhabdomyosarcoma.	Cancer Med.	10(18)	6442-6455	2021
Obu S, Umeda K, Ueno H, Sonoda M, Tasaka K, Ogata H, Kouzuki K, Nodomi S, Saida S, Kato I, Hiramatsu H, Okamoto T, Ogawa E, Okajima H, Morita K, Kamikubo Y, Kawaguchi K, Watanabe K, Iwafuchi H, Yagyu S, Iehara T, Hosoi H, Nakahata T, Adachi S, Uemoto S, Heike T, Takita J.	CD146 is a potential immunotarget for neuroblastoma.	Cancer Sci	112(11)	4617-4626	2021
Tomida A, Yagyu S, Nakamura K, Kubo H, Yamashima K, Nakazawa Y, Hosoi H, Iehara T.	Inhibition of MEK pathway enhances the antitumor efficacy of chimeric antigen receptor T cells against neuroblastoma.	Cancer Sci.	112(10)	4026-4036	2021
Kubo H, Yagyu S, Nakamura K, Yamashima K, Tomida A, Kikuchi K, Iehara T, Nakazawa Y, Hosoi H.	Development of non-viral, Ligand-dependent, EPHB4-specific chimeric antigen receptor T cells for treatment of rhabdomyosarcoma.	Molecular Therapy Oncolytics	20	646-658	2021
Daifu T, Mikami M, Hiramatsu H, Iwai A, Umeda K, Noura M, Kubota H, Masuda T, Furuichi K, Takasaki S, Noguchi Y, Morita K, Bando T, Hirata M, Kataoka TR, Nakahata T, Kuwahara Y, Iehara T, Hosoi H, Takita J, Sugiyama H, Adachi S, Kamikubo Y.	Suppression of malignant rhabdoid tumors through Chb-M'-mediated RUNX1 inhibition.	Pediatr Blood Cancer.	68(2)	doi: 10.1002/pbc.28789.	2021

Miyahara H, Natsumeda M, Kanemura Y, Yamasaki K, Riku Y, Akagi A, Oohashi W, Shofuda T, Yoshioka E, Sato Y, Taga T, Naruke Y, Ando R, Hasegawa D, Yoshida M, Sakaida T, Okada N, Watanabe H, Ozeki M, Arakawa Y, Yoshimura J, Fujii Y, Suenobu S, Ihara K, Hara J, Kakita A, Yoshida M, Iwasaki Y.	Topoisomerase II β immunoreactivity (IR) co-localizes with neuronal marker-IR but not glial fibrillary acidic protein-IR in GLI3-positive medulloblastomas: an immunohistochemical analysis of 124 medulloblastomas from the Japan Children's Cancer Group	Brain Tumor Pathol.	38(2)	109-121	2021
Nakamura N, Kishimoto K, Ishida T, Nakamura S, Tamura A, Kozaki A, Saito A, Hasegawa D, Kosaka Y.	Muscle mass change during chemotherapy in children with high-risk neuroblastoma: a retrospective case series of 24 patients.	Eur J Pediatr.	180(11)	3265-3271	2021
Lin KS, Uemura S, Thwin KKM, Nakatani N, Ishida T, Yamamoto N, Tamura A, Saito A, Mori T, Hasegawa D, Kosaka Y, Nino N, Nagano C, Takafuji S, Iijima K, Nishimura N.	Minimal residual disease in high-risk neuroblastoma shows a dynamic and disease burden-dependent correlation between bone marrow and peripheral blood.	Transl Oncol	14(8)	101019	2021
Uemura S, LS Kyaw, Twin KKM, Nakatani N, Ishida Toshiaki, Yamamoto N, Tamura A, Saito A, Mori T, Hasegawa D, Kosaka Y, Nino N, Nagano C, Takafuji S, Iijima K, Nishimura N.	Limited correlation between tumor markers and minimal residual disease detected by seven neuroblastoma-associated mRNAs in high-risk neuroblastoma patients.	Molecular and Clinical Oncology	15	137	2021
Kishimoto K, Kasai M, Kawamura N, Otake S, Hasegawa D, Kosaka Y.	Clinical characteristics and risk factors for mortality in children with Pseudomonas aeruginosa bacteraemia: A retrospective review at a paediatric tertiary centre.	J Paediatr Child Health	57(12)	1976-1980	2021
Yamamoto S, Kato M, Watanabe K, Ishimaru S, Hasegawa D, Noguchi M, Hamada A, Sato M, Koike T, Iwasaki F, Yagasaki H, Takahashi Y, Kosaka Y, Hashii Y, Morimoto A, Atsuta Y, Hasegawa D, Yoshida N.	Prognostic value of the revised International Prognostic Scoring System five-group cytogenetic abnormality classification for the outcome prediction of hematopoietic stem cell transplantation in pediatric myelodysplastic syndrome.	Bone Marrow Transplant	56(12)	3016-3023	2021
Kishimoto K, Hasegawa D, Uemura S, Nakamura S, Kozaki A, Saito A, Ishida T, Mori T, Kosaka Y.	Effect of Monoammonium Glycyrrhizinate on the Development of Hepatotoxicity After Initial Intrathecal Chemotherapy for Leukemia.	Anticancer Res.	41(12)	6231-6236	2021

Moriya K, Imamura T, Katayama S, Kaino A, Okamoto K, Yokoyama N, Uemura S, Kitazawa H, Sekimizu M, Hiramatsu H, Usami I, Ishida H, Hasegawa D, Hama A, Moriya-Saito A, Saito A, Sasahara Y, Suenobu S, Horibe K, Hara J	The incidence of symptomatic osteonecrosis is similar between Japanese children and children in Western countries with acute lymphoblastic leukaemia treated with a Berlin-Frankfurt-Münster (BFM)95-based protocol.	Br J Haematol	196(5)	1257-1261	2022
Hayase T, Mieno MN, Kobayashi K, Mori N, Lebowitz AJ, Kato Y, Saito Y, Yuzawa Y, Sano H, Osone S, Hori T, Shinkoda Y, Yamamoto N, Hasegawa D, Yano M, Ashiarai M, Hasegawa D, Sawada A, Yamaguchi T, Morimoto A, Fukushima K.	Reliability and Validity of the Japanese Pediatric Version of Memorial Symptom Assessment Scale	J Pain Symptom Manage.	3924(21)	00706-5	2022
Ishi Y, Shimizu A, Takakuwa E, Sugiyama M, Okamoto M, Motegi H, Hirabayashi S, Cho Y, Iguchi A, Manabe A, Nobusawa S, Tanaka S, Yamaguchi S.	High-grade neuroepithelial tumor with BCL6 corepressor-alteration presenting pathological and radiological calcification: A case report.	Pathol Int.	71	348-354	2021
Sato T, Hara K, Ohba G, Yamamoto H, Iguchi A.	Long-term survival of two patients with recurrent high-risk neuroblastoma.	Pediatr Int.	63	849-851	2021
Oura K, Sato T, Iguchi A, Toriumi N, Sarashina T.	Lymphomatoid Papulosis Development in Acute Lymphoblastic Leukemia.	J. Med Cases	12	306-309	2021
Nishida M, Sugita J, Takahashi S, Iwai T, Sato M, Kikudo Y, Omotehara S, Horie T, Sakano R, Shibuya H, Yokota I, Iguchi A, Teshima T.	Refined ultrasonographic criteria for sinusoidal obstruction syndrome after hematopoietic stem cell transplantation.	Int J Hematol.	114	94-101	2021
Miyamoto S, Umeda K, Kurata M, Nishimura A, Yanagimachi M, Ishimura M, Sato M, Shigemura T, Kato M, Sasahara Y, Iguchi A, Koike T, Takahashi Y, Kajiwara M, Inoue M, Hashii Y, Yabe H, Kato K, Aotsuta Y, Imai K, Morio T.	Hematopoietic Cell Transplantation for Severe Combined Immunodeficiency Patients: a Japanese Retrospective Study.	J Clin Immunol.	41	1865-1877	2021
Takachi T, Watanabe T, Miyamura T, Saito A, Deguchi T, Hori T, Yamada T, Ohmori S, Haba M, Aoki Y, Ishimaru S, Sasaki S, Ohshima J, Iguchi A, Takahashi Y, Hyakuna N, Manabe A, Horibe K, Ishii E, Koh K, Tomizawa D.	Hematopoietic stem cell transplantation for infants with high-risk KMT2A gene rearranged acute lymphoblastic leukemia.	Blood Adv.	5	3891-3899	2021

Kada A, Kikuta A, Saito AM, Kato K, Iguchi A, Yabe H, Ishida H, Hyakuna N, Takahashi Y, Nagasawa M, Hashii Y, Umeda K, Matsumoto K, Fujisaki H, Yano M, Nakazawa Y, Sano H.	Single-Arm Non-Blinded Multicenter Clinical Trial on T-Cell-Replete Haploidentical Stem Cell Transplantation Using Low-Dose Antithymocyte Globulin for Relapsed and Refractory Pediatric Acute Leukemia.	Kurume Med J.	66	161-168	2021
Sato-Otsubo A, Osumi T, Yoshida M, Iguchi A, Fukushima T, Nakabayashi K, Ogawa S, Hata K, Kato M.	Genomic analysis of two rare cases of pediatric Philadelphia-positive T-ALL.	Pediatr Blood Cancer.		in press	2022
Hama A, Hasegawa D, Manabe A, Nozawa K, Narita A, Muramatsu H, Kosaka Y, Kobayashi M, Koh K, Takahashi Y, Watanabe K, Ohara A, Ito M, Kojima S.	Prospective validation of the provisional entity of refractory cytopenia of childhood, proposed by the World Health Organization.	Br J Haematol	196	1031-039	2022
Honda Y, Muramatsu H, Nanjo Y, Hirabayashi S, Meguro T, Yoshida N, Kakuda H, Ozono S, Wakamatsu M, Moritake H, Yasui M, Sano H, Manabe A, Sakashita K	A retrospective analysis of azacitidine treatment for juvenile myelomonocytic leukemia.	Int J Hematol	115	263-268	2022
Hasegawa M, Sugiyama M, Terashita Y, Cho Y, Manabe A.	Hepatoblastoma with bone/marrow metastasis in Li-Fraumeni syndrome patient.	Pediatr Int	64	E15135	2022
Tanaka Y, Urayama KY, Mori M, Arakawa Y, Hasegawa D, Noguchi Y, Yanagimachi M, Keino D, Otagaki S, Akahane K, Inukai T, Hangai M, Kawaguchi T, Takagi M, Koh K, Matsuda F, Manabe A	Prominence of NUDT15 genetic variation associated with 6-mercaptopurine tolerance in a genome-wide association study of Japanese children with acute lymphoblastic leukemia.	Br J Haematol	199	260-269	2022
Yamaguchi S, Okamoto M, Ishi Y, Sawaya R, Motegi H, Sugiyama M, Harada T, Fujima N, Mori T, Hashimoto T, Takakuwa E, Manabe A, Kudo K, Aoyama H, Fujimura M	Long-term Consequences of residual lesions after chemoradiotherapy in patients with germinoma at onset.	J Neurosurg Pediatr	In press		
Ozono S, Sakashita K, Yoshida N, Kakuda H, Watanabe K, Maeda M, Ishida Y, Manabe A, Taga T, Muramatsu H	A nationwide survey of late effects in survivors of juvenile myelomonocytic leukemia in Japan.	Pediatr Blood Cancer	70	E30126	2023
Kobayashi K, Ishida Y, Gunji M, Nagase K, Yoshimoto-Suzuki Y, Hosoya Y, Hasegawa D, Manabe A, Ohde S, Ozawa M	Factors related to employment in childhood cancer survivors in Japan: a preliminary study.	Front Pediatr	10	961935	2022

Zhao J, Ueki M, Sawai S, Sugiyama M, Terashita Y, Hirabayashi S, Cho Y, Kobayashi R, Tanaka Y, Manabe A	The heterozygous NUDT15 variants is not associated with the severity of 6-mercaptopurine-related side effects in early intensification therapy for childhood acute lymphoblastic leukemia.	Eur J Cancer Pediatr Oncol	In press		
康勝好	B前駆細胞性急性リンパ性白血病の治療戦略	臨床血液	63	816-25	2022
Honda M, Yuki A, Takahiro H, Chigusa O, Yuichi M, Makiko M, Fukuoka K, Koichi O, Yutaka T, Tetsuya I, Hiroshi K, Koichi M, Ikuya U, Norifumi K, Katsuyoshi K.	Predictive risk score of respiratory complications in children with mediastinal tumors: A case-control study.	Cancer Med.	12	1167-76	2023
佐藤 聡美, 瀧本 哲也, 小阪 嘉之, 佐藤 篤, 湯坐 有希, 康勝好, 角南 勝介, 種山 雄一, 堀 壽成, 太田 節雄, 松本 公一, 多賀 崇, 渡辺 新, 滝田 順子, 野村 恵子, 金兼 弘和, 陳 基明, 早川 晶, 福島 敬, 加藤 実穂, 大六 一志	1.小児急性リンパ性白血病患児における認知機能の前方視的多施設協同研究	日本小児血液・がん学会雑誌	28	424-431	2022
Hara J, Matsumoto K, Maeda N, Takahara-Matsubara M, Sugimoto S, Goto H.	High-dose thiotepa, in conjunction with melphalan, followed by autologous hematopoietic stem cell transplantation in patients with pediatric solid tumors, including brain tumors.	Bone Marrow Transplant.	58(2)	123-128	2022
Yoshino Y, Goto H, Ito M, Tsurusaki Y, Takita J, Hayashi Y, Yanagimachi M.	YM155 and chrysin cooperatively suppress survivin expression in SMARCB1/INI1-deficient tumor cells.	Med Oncol.	39(12)	234	2022
Tsuzuki S, Yasuda T, Goto H, Maeda N, Akahane K, Inukai T, Yamamoto H, Karnan S, Ota A, Hyodo T, Konishi H, Hosokawa Y, Kiyoi H, Hayakawa F.	BCL6 inhibition ameliorates resistance to ruxolitinib in <i>CRLF2</i> -rearranged acute lymphoblastic leukemia.	Haematologica.	108(2)	394-408	2023
Tanaka K, Kato I, Dobashi Y, Imai JI, Mikami T, Kubota H, Ueno H, Ito M, Ogawa S, Nakahata T, Takita J, Toyoda H, Ogawa C, Adachi S, Watanabe S, Goto H.	The first Japanese biobank of patient-derived pediatric acute lymphoblastic leukemia xenograft models.	Cancer Sci.	113(11)	3814-3825	2022

Rasmussen SV, Jin JX, Bickford LR, Woods AD, Sahm F, Crawford KA, Nagamori K, <u>Goto H</u> , Torres KE, Sidoni A, Rudzinski ER, Thway K, Jones RL, Ciulli A, Wright H, Lathara M, Srinivasa G, Kannan K, Huang PH, Grünewald TGP, Berlow NE, Keller C.	Functional genomic analysis of epithelioid sarcoma reveals distinct proximal and distal subtype biology.	Clin Transl Med.	12(7)	e961	2022
Tamai M, Kasai S, Akahane K, Thu TN, Kagami K, Komatsu C, Abe M, Watanabe A, Goi K, Miyake K, Inaba T, Takita J, <u>Goto H</u> , Minegishi M, Iwamoto S, Sugita K, Inukai T.	Glucocorticoid receptor gene mutations confer glucocorticoid resistance in B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia.	J Steroid Biochem Mol Biol.	218	106068	2022
Yoshida M, Tanaka M, Kitagawa N, Nozawa K, Shinokai M, <u>Goto H</u> , Tanaka Y.	Clinicopathological study of surgery for pulmonary metastases of hepatoblastoma with indocyanine green fluorescent imaging.	Pediatr Blood Canc	69(7)	e29488	2022
Doz F, van Tilburg CM, Goerger B, Højgaard M, Ørskov I, Boni V, Capra M, Chisholm J, Chung HC, Dubois SG, Gallego-Melcon S, Gerber NU, <u>Goto H</u> , Grilleby-Olson JE, Hansford JR, Hong DS, Italiano A, Kang HJ, Nysom K, Thorwarth A, Stefanowicz J, Tahara M, Ziegler DS, Gavrilovic IT, Norenberg R, Dima L, De La Cuesta E, Laetsch TW, Drilon A, Perreault S.	Efficacy and safety of larotrectinib in TRK fusion-positive primary central nervous system tumors.	Neuro Oncol.	24(6)	997-1007	2022
Imaya M, Muramatsu H, Narita A, Yamamori A, Wakamatsu M, Yoshida T, Miwata S, Narita K, Ichikawa D, Hamada M, Nishikawa E, Kawashima N, Nishio N, Kojima S, Takahashi Y.	Combination chemotherapy consisting of irinotecan, etoposide, and carboplatin for refractory or relapsed neuroblastoma.	Cancer Med	11(9)	1956-1964	2022
Matsui M, Makimoto A, Nishio N, Takahashi Y, Urashima M, Yuza Y.	Predictive factors of acute respiratory events during initial induction chemotherapy in patients with advanced neuroblastoma.	Cancer Rep (Hoboken)	5(5)	e1499	2022
Tetsuka N, Muramatsu H, Iiguchi M, Oka K, Morioka H, Takahashi Y, Yagi T.	Difficulties in diagnosing Mucormycosis infection and possibility of spontaneous resolution in a patient undergoing chemotherapy for neuroblastoma: A case report.	J Infect Chemother.	28(7)	987-990	2022

Yoshida T, Muramatsu H, Wakamatsu M, Taniguchi R, Ichikawa D, Nakaguro M, Natsume A, Takahashi Y.	Microsatellite instability-high is rare events in refractory pediatric solid tumors.	Pediatr Hematol Oncol.	39(5)	468-474	2022
Maemura R, Wakamatsu M, Matsumoto K, Sakaguchi H, Yoshida N, Hama A, Yoshida T, Miwata S, Kitazawa H, Narita K, Kataoka S, Ichikawa D, Hamada M, Taniguchi R, Suzuki K, Kawashima N, Nishikawa E, Narita A, Okuno Y, Nishio N, Kato K, Kojima S, Morita K, Muramatsu H, Takahashi Y.	Clinical Impact of Melphalan Pharmacokinetics on Transplantation Outcomes in Children Undergoing Hematopoietic Stem Cell Transplantation.	Cell Transplant.	31	1-9	2022
Hama A, Hasegawa D, Manabe A, Nozawa K, Narita A, Muramatsu H, Kosaka Y, Kobayashi M, Koh K, Takahashi Y, Watanabe K, Ohara A, Ito M, Kojima S.	Prospective validation of the provisional entity of refractory cytopenia of childhood, proposed by the World Health Organization.	Br J Haematol.	196(4)	1031-1039	2022
Imaizumi T, Meyer J, Wakamatsu M, Kitazawa H, Murakami N, Okuno Y, Yoshida T, Sajiki D, Hama A, Kojima S, Takahashi Y, Loh M, Stieglitz E, Muramatsu H.	Clinical parameter-based prediction of DNA methylation classification generates a prediction model of prognosis in patients with juvenile myelomonocytic leukemia.	Sci Rep	12(1)	14753	2022
Taniguchi R, Muramatsu H, Okuno Y, Yoshida T, Wakamatsu M, Hamada M, Shirota C, Sumida W, Hinoki A, Tainaka T, Gotoh Y, Tsuzuki T, Tanaka Y, Kojima S, Uchida H, Takahashi Y.	A patient with very early onset FH-deficient renal cell carcinoma diagnosed at age seven.	Fam Cancer.	21(3)	337-341	2022
Kato I, Sakaguchi H, Kato S, Sato M, Noguchi M, Yoshida N, Koh K, Koike T, Yanagimachi M, Kato K, Takahashi Y, Fujita N, Sato A, Hashii Y, Tabuchi K, Aotsuta Y, Morishima S, Kanada J.	Impact of human leukocyte antigen mismatch on outcomes after unrelated bone marrow transplantation in pediatric patients: A retrospective analysis by the JSTCT HLA working group.	Br J Haematol.	199(3)	392-400	2022
Sanyanusin M, Tudsamran S, Thaiwong R, Tawinwung S, Nishio N, Takahashi Y, Hirankarn N, Suppipat K.	Novel xeno-free and serum-free culturing condition to improve piggyBac transposon-based CD19 chimeric antigen receptor T-cell production and characteristics.	Cytotherapy.	25(4)	397-406	2023

Akahane K, Kimura S, Miyake K, Watanabe A, Kagami K, Yoshimura K, Shinohara T, Harama D, Kasai S, Goi K, Kawai T, Hata K, Kiyokawa N, Koh K, Imamura T, Horibe K, Look AT, Minegishi M, Sugita K, Takita J , Inukai T.	Association of allele-specific methylation of the ASNS gene with asparaginase sensitivity and prognosis in T-ALL.	Blood Adv	6, 1,	212-224	2022
Kouzuki K, Umeda K, Saida S, Kato I, Hiramatsu H, Okamoto T, Ogawa E, Okajima H, Furuta A, Adachi S, Daifu T, Takita J .	Successful right hepatic trisectionectomy following percutaneous transhepatic portal embolization in a pediatric patient with undifferentiated embryonal sarcoma of the liver.	Pediatr Blood Cancer	69, 2	e29369	2022
Umeda K, Taura K, Kato I, Saida S, Hiramatsu H, Shimizu H, Nakamoto Y, Uto M, Mizowaki T, Sakamoto A, Adachi S, Okamoto T, Takita J .	Intensive Multimodal Therapy Combined With Long-term Temozolomide and Etoposide Treatment for Recurrent Osteosarcoma to the Liver and Stomach	J Pediatr Hematol Oncol,	44	175-177	2022
Tamai M, Kasai S, Akahane K, Thu TN, Kagami K, Komatsu C, Abe M, Watanabe A, Goi K, Miyake K, Inaba T, Takita J , Goto H, Minegishi M, Iwamoto S, Sugita K, Inukai T.	Glucocorticoid receptor gene mutations confer glucocorticoid resistance in B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia. J Steroid Biochem Mol Biol , 2022, 218, 106068	J Steroid Biochem Mol Biol	218	106068	2022
Kudo K, Kubota Y, Toki T, Kanezaki R, Kobayashi A, Sato T, Kamio T, Sasaki S, Shiba N, Tomizawa D, Adachi S, Yoshida K, Ogawa S, Seki M, Takita J , Terui K.	Childhood acute myeloid leukemia with 5q deletion and HNRNPH1-MLL10 fusion: The first case report.	Blood Adv	6	6209	2022
Hiwatari M, Seki M, Matsuno R, Yoshida K, Nagasawa T, Sato-Otsubo A, Yamamoto S, Kato M, Watanabe K, Sekiguchi M, Miyano S, Ogawa S, Takita J .	Novel TENM3-ALK fusion is an alternate mechanism for ALK activation in neuroblastoma.	Oncogene	41	2789-2797	2022
Kawabata N, Hiramatsu H, Mikami T, Akazawa R, Tanaka K, Kouzuki K, Kubota H, Saida S, Kato I, Umeda K, Hirate T, Kanda K, Adachi S, Takita J .	Chimeric antigen receptor T-cell therapy for a patient with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia and leukoencephalopathy who relapsed after bone marrow transplantation.	Pediatr Blood Cancer	69	e29734	2022

Nakajima K, Kubota H, Kato I, Isobe K, Ueno H, Kouzuki K, Tanaka K, Kawabata N, Mikami T, Tamefusa K, Nishiuchi R, Saida S, Umeda K, Hiramatsu H, Adachi S, Takita J.	PAX5 alterations in an infant case of KMT2A-rearranged leukemia with lineage switch.	Cancer Sci.	113	2472-2476	2022
Fukui S, Umeda K, Kubota H, Iwai A, Akazawa R, Isobe K, Tanaka K, Kouzuki K, Kawabata N, Saida S, Kato I, Hiramatsu H, Itatani Y, Funakoshi T, Adachi S, Takita J.	Use of Cabozantinib to Treat MET-amplified Pediatric Colorectal Cancer.	J Pediatr Hematol Oncol.	145	e423-e426	2022
Oksa L, Mäkinen A, Nikkilä A, Hyvärinen N, Laukkanen S, Rokka A, Haapaniemi P, Seki M, Takita J. , Kauko O, Heinäniemi M, Lohi O.	Arginine Methyltransferase PRMT7 Deregulates Expression of RUNX1 Target Genes in T-Cell Acute Lymphoblastic Leukemia.	Cancers (Basel).	14	2169	2022
Takagi M, Ogawa C, Iehara T, Aoki-Nogami Y, Ishibashi E, Imai M, Kimura T, Nagata M, Yasuhara M, Masutani M, Yoshimura K, Tomizawa D, Ogawa A, Yonemori K, Morishita A, Miyamoto S, Takita J. , Kihara T, Nobori K, Hasebe K, Miya F, Ikeda S, Shioda Y, Matsumoto K, Fujimura J, Mizutani S, Morio T, Hosoi H, Koike R.	First phase I clinical study of olaparib in pediatric patients with refractory solid tumors.	Cancer	128	2949-2957	2022
Shirai R, Osumi T, Sato-Otsubo A, Nakabayashi K, Ishiwata K, Yamada Y, Yoshida M, Yoshida K, Shioda Y, Kiyotani C, Terashima K, Tomizawa D, Takasugi N, Takita J. , Miyazaki O, Kiyokawa N, Yoneda A, Kanamori Y, Hishiki T, Matsumoto K, Hata K, Yoshioka T, Kato M.	Quantitative assessment of copy number alterations by liquid biopsy for neuroblastoma.	Genes Chromosomes Cancer	61	662-669	2022
Yamashita H, Arakawa Y, Terada Y, Takeuchi Y, Minoharu Y, Sumiyoshi S, Tokunaga S, Nakajima K, Kawabata N, Tanaka K, Tanji M, Umeda K, Minamiguchi S, Ogawa S, Haga H, Takita J. , Miyamoto S.	Whole-genome sequencing analysis of an atypical teratoid/rhabdoid tumor in a patient with Phelan-McDermid syndrome: a case report and systematic review.	Brain Tumor Pathol	39	232-239	2022

Tanaka K, Kato I, Dobashi Y, Imai JI, Mikami T, Kubota H, Ueno H, Ito M, Ogawa S, Nakahata T, Takita J , Toyoda H, Ogawa C, Adachi S, Watanabe S, Goto H.	The first Japanese biobank of patient-derived pediatric acute lymphoblastic leukemia xenograft models.	Cancer Sci.	113	3814-3825	2022
Mayumi A, Tomii T, Kanyama T, Mikami T, Tanaka K, Ueno H, Yoshida H, Kato I, Kawamura M, Nakahata T, Takita J , Hosoi H, Imamura T.	The combination of ruxolitinib and Bcl-2/Mcl-1 inhibitors has a synergistic effect on leukemic cells carrying a SPAG9: JAK2 fusion.	Cancer Gene Ther	29	1930-1938	2022
Umeda K, Sakamoto A, Noguchi T, Uchihara Y, Kobushi H, Akazawa R, Ogata H, Saida S, Kato I, Hirama tsu H, Uto M, Mizowaki T, Haga H, Date H, Okamoto T, Watanabe K, Adachi S, Toguchida J, Matsuda S, Takita J .	Clinical Outcomes of Patients with Osteosarcoma Experiencing Relapse or Progression: A Single-institute Experience.	J Pediatr Hematol Oncol	45	e356-e-362	2022
Isobe T, Takagi M, Sato-Otsubo A, Nishimura A, Nagae G, Yamagishi C, Tamura M, Tanaka Y, Asada S, Takeda R, Tsuchiya A, Wang X, Yoshida K, Nannya Y, Ueno H, Akazawa R, Kato I, Mikami T, Watanabe K, Sekiguchi M, Seki M, Kimura S, Hiwatari M, Kato M, Fukuda S, Tatsuno K, Tsutsumi S, Kanai A, Inaba T, Shiozawa Y, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Kotecha RS, Cruickshank MN, Ishikawa F, Morio T, Eguchi M, Deguchi T, Kiyokawa N, Arakawa Y, Koh K, Aoki Y, Ishihara T, Tomizawa D, Miyamura T, Ishii E, Mizutani S, Wilson NK, Göttingens B, Miyano S, Kitamura T, Goyama S, Yokoyama A, Aburatani H, Ogawa S, Takita J .	Multi-omics analysis defines highly refractory RAS burdened immature subgroup of infant acute lymphoblastic leukemia.	Nat Commun	13	4501	2022
Yoshino Y, Goto H, Ito M, Tsurusaki Y, Takita J , Haryashi Y, Yanagimachi M.	YM155 and chrysin cooperatively suppress survivin expression in SMARCB1/INI1-deficient tumor cells.	Med Oncol.	39	234	2022
Uchihara Y, Kato I, Hanaki R, Saida S, Iwamoto S, Umeda K, Hiramatsu H, Adachi S, Takita J .	Autologous Recovery With Chromosomal Abnormalities After Unrelated Umbilical Cord Blood Transplantation With Myeloablative Conditioning in a Case of Pediatric Acute Lymphoblastic Leukemia.	J Pediatr Hematol Oncol.	45	e142-144	2022

Watanabe K, Kimura S, Seki M, Isobe T, Kubota Y, Sekiguchi M, Sato-Otsubo A, Hiwatari M, Kato M, Oka A, Koh K, Sato Y, Tanaka H, Miyano S, Kawai T, Hata K, Ueno H, Nannya Y, Suzuki H, Yoshida K, Fujii Y, Nagae G, Aburata ni H, Ogawa S, Takita J.	Identification of the ultrahigh-risk subgroup in neuroblastoma cases through DNA methylation analysis and its treatment exploiting cancer metabolism.	Oncogene	41	4994-5007	2022
Irie M, Niihori T, Nakano T, Suzuki T, Katayama S, Moriya K, Niizuma H, Suzuki N, Saito-Nanjo Y, Onuma M, Rikiishi T, Sato A, Hangai M, Hiwatari M, Ikeda J, Tanoshima R, Shiban N, Yuza Y, Yamamoto N, Hashii Y, Kato M, Takita J. Maeda M, Aoki Y, Imaizumi M, Sasahara Y.	Reduced-intensity conditioning is effective for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in infants with MECOM-associated syndrome.	Int J Hematol.	117	598-606	2022
Mikami M, Masuda T, Kanatani T, Noura M, Umeda K, Hiramatsu H, Kubota H, Daifu T, Iwai A, Hattori EY, Furuichi K, Takasaki S, Tanaka S, Matsui Y, Matsuo H, Hirata M, Kataoka TR, Nakahata T, Kuwahara Y, Iehara T, Hosoi H, Imai Y, Takita J. Sugiyama H, Adachi S, Kamikubo Y.	RUNX1-Survivin Axis Is a Novel Therapeutic Target for Malignant Rhabdoid Tumors.	Mol Cells	45	886-895	2022
Tasaka K, Kato I, Takeshita S, Yoshioka Y, Usami A, Uchihara Y, Akazawa R, Kamitori T, Saida S, Umeda K, Hiramatsu H, Adachi S, Takita J.	Second relapse of FLT3-ITD-positive acute myeloid leukemia after discontinuation of 3-year post-transplant maintenance therapy with gilteritinib. <i>Pediatr Blood Cancer.</i> 2023	Pediatr Blood Cancer	70	e30185	2023
Torizuka D, Uto M, Umeda K, Kamitori T, Iwai A, Saida S, Kato I, Mineharu Y, Arakawa Y, Takita J. Mizowaki T.	A Scalp Dose Threshold for Preventing Permanent Alopecia in Scalp-Avoidance Whole-Brain Irradiation With Volumetric Modulated Arc Radiation Therapy for Pediatric Patients With Medulloblastomas.	Int J Radiat Oncol Biol Phys.	S0360-3016	Online ahead of print	2023
Takagi M, Ogawa C, Iehara T, Aoki-Nogami Y, Ishibashi E, Imai M, Kimura T, Nagata M, Yasuhara M, Masutani M, Yoshimura K, Tomizawa D, Ogawa A, Yonemori K, Morishita A, Miyamoto S, Takita J, Kihara T, Nobori K, Hasebe K, Miya F, Ikeda S, Shioda Y, Matsumoto K, Fujimura J, Mizutani S, Morio T, Hosoi H, Koike R	First phase I clinical study of olaparib in pediatric patients with refractory solid tumors.	Cancer.	128(15)	2949-2957	2022

Watanabe K, Mori M, Hishiki T, Yokoi A, Ida K, Yano M, Fujimura J, Nogami Y, Iehara T, Hoshino K, Inoue T, Tanaka Y, Miyazaki O, Takimoto T, Yoshimura K, Hiyama E.	Feasibility of dose-dense cisplatin-based chemotherapy in Japanese children with high-risk hepatoblastoma: Analysis of the JPLT3-H pilot study.	Pediatr Blood Cancer.	69(2)	e29389	2022
Hara J, Nitani C, Shichino H, Kuroda T, Hishiki T, Soejima T, Mori T, Matsumoto K, Sasahara Y, Iehara T, Miyamura T, Kosaka Y, Takimoto T, Nakagawara A, Tajiri T	Japan Children's Cancer Group (JCCG) Neuroblastoma Committee (JNBSG). Outcome of children with relapsed high-risk neuroblastoma in Japan and analysis of the role of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Jpn J Clin Oncol	52(5)	486-492	2022
Katsumi Y, Iehara T, Kuwahara Y, Tsuchiya K, Konishi E, Hosoi H.	Diverse outcomes in extracranial rhabdoid tumors: A single institute experience.	Pediatr Hematol Oncol.	39(3)	278-285	2022
Kaneda D, Iehara T, Kikuchi K, Sugimoto Y, Nakagawa N, Yagyu S, Miyachi M, Konishi E, Sakai T, Hosoi H	The histone deacetylase inhibitor OBP-801 has in vitro/in vivo anti-neuroblastoma activity.	Pediatr Int.	64(1)	e15159.	2022
Suematsu M, Yagyu S, Yoshida H, Osone S, Nakazawa Y, Sugita K, Imamura T, Iehara T.	Targeting FLT3-specific chimeric antigen receptor T cells for acute lymphoblastic leukemia with KMT2A rearrangement.	Cancer Immunol Immunother	72(4)	957-968.	2022
Oya S, Osone S, Yoshida M, Nishimoto S, Taura Y, Yoshida H, Miyachi M, Inaba T, Konishi E, Kato M, Imamura T, Iehara T.	Identification of RCC1-LCK as a novel fusion gene in pediatric erythroid sarcoma.	Pediatr Blood Cancer.	69(9)	e29848	2022
Fujikawa T, Uemura S, Yoshida M, Hyodo S, Kozaki A, Saito A, Kishimoto K, Ishida T, Mori T, Uematsu A, Morita K, Hatakeyama T, Tamura A, Yamamoto N, Komatsu M, Soejima T, Hasegawa D, Kosaka Y.	Spindle cell sarcoma with KIAA1549-BRAF resembling infantile fibrosarcoma morphologically: A case report and literature review.	Oncol Lett.	24(6)	452	2022
Nino N, Ishida T, Nakatani N, Lin KS, Win KHN, Mon CY, Nishimura A, Inoue S, Tamura A, Yamamoto N, Uemura S, Saito A, Mori T, Hasegawa D, Kosaka Y, Nozu K, Nishimura N.	Minimal residual disease detected by droplet digital PCR in peripheral blood stem cell grafts has a prognostic impact on high-risk neuroblastoma patients.	Heliyon.	8(10)	e10978	2022
Mitsuboshi A, Kishimoto K, Ito Y, Ishida T, Kasai M, Hasegawa D, Kosaka Y.	Incidence and Causative Organisms of Bacteriuria in Children With Cancer: A 9-year Experience in a Tertiary Pediatric Center.	J Pediatr Hematol Oncol.	45(1)	21-24	2023

Fujikawa T, Kishimoto K, Inoue S, Nishimura A, Tojo R, Uemura S, Nakamura S, Saito A, Kozaki A, Ishida T, Mori T, Higashino M, Koyama J, Kawamura A, Hasegawa D, Kosaka Y.	Epidural Spinal Cord Compression as the Presenting Manifestation of Acute Myeloid Leukemia: A Case Report and Literature Review.	Intern Med.	62(3)	453-457	2023
Kishimoto K, Hasegawa D, Uemura S, Nakamura S, Kozaki A, Saito A, Ishida T, Mori T, Kosaka Y.	Association between muscle mass evaluated by computed tomography and the serum creatinine-cystatin C ratio in children with cancer: A cross-sectional study.	Nutrition.	99-100	111679.	2022
Hayase T, Mieno MN, Kobayashi K, Mori N, Lebowitz AJ, Kato Y, Saito Y, Yuza Y, Sano H, Osone S, Hori T, Shinkoda Y, Yamamoto N, Hasegawa D, Yano M, Ashiarai M, Hasegawa D, Sawada A, Yamaguchi T, Morimoto A, Fukushima K.	Reliability and Validity of the Japanese Pediatric Version of Memorial Symptom Assessment Scale.	J Pain Symptom Manage.	63(5)	e495-e504	2022
Takahashi Y, Ishida H, Imamura T, Tamefusa K, Sue nobu S, Usami I, Yumura-Yagi K, Hasegawa D, Nishimura S, Suzuki N, Hashii Y, Deguchi T, Moriya-Saito A, Kosaka Y, Kato K, Kobayashi R, Kawasaki H, Hori H, Sato A, Kudo T, Nakahata T, Oda M, Hara J, Horibe K.	JACLS ALL-02 SR protocol reduced-intensity chemotherapy produces excellent outcomes in patients with low-risk childhood acute lymphoblastic leukemia.	Int J Hematol.	115(6)	890-897	2022
Uemura S, Demizu Y, Hasegawa D, Fujikawa T, Inoue S, Nishimura A, Tojo R, Nakamura S, Kozaki A, Saito A, Kishimoto K, Ishida T, Mori T, Koyama J, Kawamura A, Akasaka Y, Yoshida M, Fukumitsu N, Soejima T, Kosaka Y.	The comparison of acute toxicities associated with craniospinal irradiation between photon beam therapy and proton beam therapy in children with brain tumors.	Cancer Med	11(6)	1502-1510.	2022
Sakamoto A, Nakadate H, Iguchi A, Tsumura Y, Tsuruta T, Yamashiro Y, Hattori Y, Ishiguro A.	Unstable hemoglobin Bicêtre, NM_000518.4(HBB):C.191A>C (p.His64Pro), with slightly decreased P50 and no polycythemia after splenectomy.	Pediatr Blood Canc er.	69	e29777	2022
Yaga T, Iguchi A, Nakayama R, Kosaki R, Ishiguro A.	Potocki-Shaffer syndrome revealed in a WAGR syndrome case with multiple exostoses.	Pediatr Int.	65	e15405	2023

Yamano S, <u>Iguchi A</u> , Ishikawa K, Sakamoto A, Uchiyama T, Yanagi K, Kaname T, Ishiguro A.	Splenectomy as an effective treatment for macrothrombocytopenia in Takenouchi-Kosaki syndrome.	Int J Hematol.	117	622-625	2023
Nishida M, Sugita J, Takahashi S, Iwai T, Sato M, Kudo Y, Omotehara S, Horie T, Sakano R, Shibuya H, Yokota I, <u>Iguchi A</u> , Teshima T.	Correction to: Refined ultrasonographic criteria for sinusoidal obstruction syndrome after hematopoietic stem cell transplantation.	Int J Hematol.	117	468	2023
Ishida H, Imamura T, Tatebe Y, Ishihara T, Sakaguchi K, Suenobu S, Sato A, Hashii Y, Deguchi T, Takahashi Y, Hasegawa D, Miyamura T, <u>Iguchi A</u> , Kato K, Saito-Moriya A, Hara J, Horibe K.	Impact of asparaginase discontinuation on outcomes of children with acute lymphoblastic leukaemia receiving the Japan Association of Childhood Leukaemia Study ALL-02 protocol.	Br J Haematol.	In press		2023
Kenichi Sakamoto, Kayoko Kikuchi, Mayumi Sako, Miho Kato, <u>Tetsuya Takimoto</u> , Yoko Shioda	Pilot study to estimate the safety and effectiveness of hydroxyurea and methotrexate recurrent Langerhans cell histiocytosis (LCH-HU-Pilot)	Medicine	101(50)	1-5	2022
Osamu Miyazaki, Eiji Oguma, Masanori Nishikawa, Yutaka Tanami, Takahiro Hosokawa, Masahiro Kitami, Hidekazu Aoki, Shinya Hattori, Ken Motoori, Kenichiro Watanabe, Kohmei Ida, Tomoro Hishiki, Masayuki Kitamura, Kumiko Nozawa, <u>Tetsuya Takimoto</u> , Eiso Hiyama	Usefulness of central radiologic review in clinical trials of children with hepatoblastoma	Pediatr Radiol	53(3)	367-377	2023
Junichi Hara, Chika Nitani, Hiroyuki Shichino, Tatsuo Kuroda, Tomoro Hishiki, Toshinori Soejima, Tetsuya Mori, Kimikazu Matsumoto, Yoji Sasahara, Tomoko Iehara, Takako Miyamura, Yoshiyuki Kosaka, <u>Tetsuya Takimoto</u> , Akira Nakagawara and Tatsuro Tajiri	Outcome of children with relapsed high-risk neuroblastoma in Japan and analysis of the role of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Japanese Journal of Clinical Oncology	52	486-492	2022
Hishiki T, Honda S, Takama Y, Inomata Y, Okajima H, Hoshino K, Suzuki T, Souzaki R, Wada M, Kasahara M, Mizuta K, Oue T, Yokoi A, Kazama T, Komatsu S, Saeki I, Miyazaki O, <u>Takimoto T</u> , Ida K, Watanabe K and Hiyama E.	Feasibility of Real-Time Central Surgical Review for Patients with Advanced-Stage Hepatoblastoma in the JPLT3 Trial	Children (Basel)	9(2)	1-10	2022

加藤 実穂, <u>瀧本 哲也</u> , 松本 公一	本邦における小児がん長期フォローアップ体制の構築に向けて(第一報)	日本小児血液・がん学会雑誌	59(5)	387-394	2022
隈部俊宏, 柳澤隆昭, 西川亮, 原 純一, 岡田恵子, <u>瀧本哲也</u>	日本におけるびまん性橋脚腫 (diffuse intrinsic pontine glioma, DIPG)の治療実態とその成績:JCCG(日本小児がん研究グループ)/AMED(日本医療研究開発機構研究委託費)原班(小児脳腫瘍に対する多施設共同研究による治療開発)による稀少小児脳腫瘍の予後に関する臨床的要因を検討する後方視的調査研究結果	小児の脳神経	47	279-286	2022
Kenichi Sakamoto, Kayoko Kikuchi, Mayumi Sako, <u>Miho Kato</u> , Tetsuya Takimoto, Yoko Shioda	Pilot study to estimate the safety and effectiveness of hydroxyurea and methotrexate recurrent Langerhans cell histiocytosis (LCH-HU-Pilot)	Medicine	101(50)	1-5	2022
加藤 実穂, 瀧本 哲也, 松本 公一	本邦における小児がん長期フォローアップ体制の構築に向けて(第一報)	日本小児血液・がん学会雑誌	59(5)	387-394	2022
大園 秀一, 石田 也寸志, 前田 美穂, 大植 孝治, 上別府圭子, 清谷 知賀子, 竹之内直子, 長 祐子, 湯坐 有希, 家原 知子, 宮村 能子, 檜山英三, 松本 公一, 大賀 正一	小児期発症血液・腫瘍性疾患の成人への移行期支援に関する基本的姿勢	日本小児血液・がん学会雑誌(2187-011 X)	59巻1号	Page58-65	2022
佐藤 聡美, 瀧本 哲也, 小阪嘉之, 佐藤 篤, 湯坐 有希, 康 勝好, 角南 勝介, 種山雄一, 堀 壽成, 太田 節雄, 松本 公一, 多賀 崇, 渡辺新, 滝田 順子, 野村 恵子, 金兼 弘和, 陳 基明, 早川晶, 福島 敬, 加藤 実穂, 大六一志	小児急性リンパ性白血病患児における認知機能の前方視的 多施設協同研究	日本小児血液・がん学会雑誌(2187-011 X)	58巻5号	Page424-431	2022
渡邊 奈美, 佐藤 聡美, 加藤 実穂, 浦山 ケビン, 清谷 知賀子, <u>松本 公一</u>	小児がんにおける日本版認知機能尺度(CCSS-NCQ)の開発	日本小児血液・がん学会雑誌(2187-011 X)	58巻5号	Page419-423	2022
蓮川 嶺希, 上出 杏里, 深澤 聡子, 清谷 知賀子, <u>松本 公一</u>	小児がん経験者の体力および活動・社会参加の特徴と課題	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)	58巻12号	Page1427-1434	2021
<u>松本 公一</u>	【移行期医療について考える】 移行期医療の現状と課題について	小児血液・腫瘍疾患 小児科臨床 (0021-518X)	74巻6号	Page664-668	2021

Yanagisawa R, Tamaki M, Tanoshima R, Misaki Y, Uchida N, Koi S, Tanaka T, Ozawa Y, Matsuo Y, Tanaka M, Ikegame K, Katayama Y, Matsuoka KI, Ara T, Kanda Y, Matsumoto K, Fukuda T, Atsuta Y, Kato M, Nakasone H.	Risk factors for fatal cardiac complications after allogeneic hematopoietic cell transplantation	Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy transplant complications working group.			2022
Ono M, Matsumoto K, Bokun N, Fujii N, Tsuchida Y, Furui T, Harada M, Kanda Y, Kawai A, Miyachi M, Murahima A, Nakayama R, Nishiyama H, Shimizu C, Sugiyama K, Takai Y, Fujio K, Morishige KI, Osuga Y, Suzuki N.	Indications for fertility preservation not included in the 2017 Japan Society of Clinical Oncology Guideline for Fertility Preservation in Pediatric, Adolescent, and Young Adult Patients treated with gonadal toxicity, including benign diseases.	Int J Clin Oncol.			2021
Matsumoto K, Yamamoto K, Ozono S, Hashimoto H, Horibe K.	Differences in the approaches of cancer specialists toward adolescent and young adult cancer care.	Pediatr Int.	30;64(1)	e15119	2021
Yotani N, Shinjo D, Kato M, Matsumoto K, Fushimi K, Kizawa Y.	Current status of intensive end-of-life care in children with hematologic malignancy: a population-based study.	BMC Palliat Care.	7;20(1)	82	2021
Nishi K, Kamei K, Ogura M, Sato M, Ishiwa S, Shioda Y, Kiyotani C, Matsumoto K, Nozu K, Ishikura K, Ito S.	Risk factors for post-nephrectomy hypotension in pediatric patients.	Pediatr Nephrol.	36(11)	3699-3709	2021